

官報

號外 昭和九年三月二十四日

○第六十五回 貴族院議事速記第三十一號

帝國議會

昭和九年三月二十三日(金曜日)午前十時十八分開議

議事日程 第三十一號

昭和九年三月二十三日

午前十時開議

第一 昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第二 鑛業法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第三 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第四 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第五 臨時米穀移入調節法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第六 政府所有米穀特別處理法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第七 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第八 輸出水產物取締法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第九 農會法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

官報號外

昭和九年三月二十四日 貴族院議事速記第三十一號

第十 借地借家調停法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第十一 小作調停法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第十二 刑法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマ

(瀨古書記官朗讀)

昨二十二日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

鐵道敷設法中改正法律案

商標法中改正法律案

不正競争防止法案

秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

同日修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

著作權法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和八年度歲入歳出總豫算追加案(第二號)

昭和八年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第二號)

昭和八年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第二號)

昭和八年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第二號)

昭和八年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第二號)

昭和九年度歲入歳出總豫算追加案(第二號)

昭和九年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

昭和九年度各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第二號)

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

鑛業法中改正法律案

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案

臨時米穀移入調節法案

政府所有米穀特別處理法案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

借地借家調停法中改正法律案

小作調停法中改正法律案

刑法中改正法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和七年度歲入歳出總決算、昭和七年度各特別會計歲入歳出決算審査報告書

昭和七年度國有財産増減總計算書審査報告書

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、大藏大臣

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月二十二日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案

政府ハ昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外九百四十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリマシタ昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案、提出ノ理由ヲ説明イタシマス、昭和九年度一般會計歲入不足ノ補填ニ付キマシテハ、之ニ關スル法律案ヲ二回ニ互リ今期會議ニ提出シ、總豫算ニ伴フモノニ付キマシテハ既ニ御協贊ヲ經テ、他ハ目下御審議中デアリマスガ、別途提出イタシマシタ同年度歲入歳出總豫算追加第二號ニ計上セル經費ノ財源ニ付キマシテモ亦今日ノ場合、其大部分ヲ公債ニ依リノ外ゴザイマセヌノデ、本法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、尙ホ本法律案ハ之ヲ會議ニ提出スル際ニ於キマシテハ、先ニ二回ニ互リ提出イタ

シマシタ歳入補填公債ノ、總豫算ニ伴フモ
ノハ既ニ御協贊ヲ經テ居リマシタケレド
モ、未ダ公布ノ運ビニ至リマセヌデアリマ
シタノト、他ハ衆議院ニ於テ審議中デアリ
マシタノニ鑑ミ、別ノ法律案ト致シタ次第
デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ與ヘ
ラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本案ハ之ヲ地租
法中改正法律案外七件ノ特別委員ニ付託イ
タシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第二、鑛業
法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、
第一讀會、松本商工大臣

鑛業法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月二十二日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

鑛業法中改正法律案
鑛業法中左ノ通改正ス

「農商務大臣」ヲ「主務大臣」ニ、鑛山監督
署長」ヲ「鑛山監督局長」ニ改ム
第二條第一項中「砒礦」ノ下ニ「ニッケル
礦、コバルト礦」ヲ加ヘ「及硫黃」ヲ「硫
黃、石膏及重晶石」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際現ニニッケル礦、コバルト
礦、石膏又ハ重晶石ヲ掘採スル者又ハ其
ノ承繼人ハ本法施行ノ日ヨリ六月間從前
ノ例ニ依リ其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得
共ノ期間内ニ當該掘採者又ハ其ノ承繼人
ガニッケル礦、コバルト礦、石膏又ハ重晶石

石ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタル場合ニ於
テ許可ノ登錄ノ日又ハ不許可ノ指令ノ日
迄亦同ジ
前項ニ掲グル者本法施行ノ日ヨリ六月以
内ニニッケル礦、コバルト礦、石膏又ハ重
晶石ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタルトキハ
其ノ掘採區域ニ限り第九條第三項、第二
十八條、第二十九條、第三十一條、第三
十三條及第三十三條ノ二ノ規定並ニ第九
條第二項ノ鑛區面積ニ關スル規定ニ拘ラ
ズ之ヲ許可ス

本法施行ノ際現ニ契約又ハ慣習ニ依リ
ニッケル礦、コバルト礦、石膏又ハ重晶石
ヲ掘採スル者ヨリ代價ヲ受クル土地所有
者ハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者
ニ對シ右ノ鑛物ノ掘採ニ付相當ノ補償金
ヲ請求スルコトヲ得
砂鑛法第十三條及第十五條ノ規定ハ前項
ノ補償金ニ之ヲ準用ス

試掘鑛區第三項ノ規定ニ依ル鑛區ト重複
シ且同種ノ鑛物ナル場合ニ於テ其ノ試掘
權者試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付採
掘ノ出願ヲ爲シ又ハ第三十三條ノ二第一
項ノ規定ニ依リ出願ヲ爲シタルトキハ第
九條第三項、第二十八條及第二十九條ノ
規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス
砂鑛法第五條ノ規定ハ第三項ノ規定ニ依
ル鑛區他人ノ鑛區ト重複シ且同種ノ鑛物
ナル場合ニ之ヲ準用ス

國務大臣(松本丞治君) 鑛業法中改正法

律案、提案ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、政
府ハ今回鑛種名追加ノ目的ヲ以テ、鑛業法
ノ一部改正ヲ致シタイ考ヘデアリマス、即
チ新ニ「ニッケル」礦、「コバルト」礦、石膏

及重晶石ヲ鑛業法上ノ鑛物中ニ追加イタシ
マシテ、掘採事業ニ鑛業法ヲ適用セムトス
ルモノデアリマス、御承知ノ通り「ニッケル」
ハ特殊鑛、電熱光源、彈丸等ニ使用セラレ
マシテ、軍事上及産業上極メテ重要ナルモ
ノデアリマシテ、其原鑛タル「ニッケル」鑛
ハ我國ニモ相當埋藏セラルルモノト認メラ
レルノデアリマス、依テ之ヲ鑛業法所定ノ
鑛物ニ追加イタシマシテ、其掘採事業ニ鑛
業法ヲ適用シマシテ、同法ノ保護監督ノ下
ニ「ニッケル」鑛ノ開發促進ヲ圖ルコトハ、刻
下ノ急務デアルト考ヘルノデアリマス、「コ
バルト」鑛モ亦特殊鋼等ニ使用セラルルモ
ノデアリマシテ、略、「ニッケル」鑛ト同様
ノ事情ニアルモノデアリマス、次ニ石膏ハ
主トシテ「セメント」混和劑トシテ使用セラ
ルモノデアリマス、又重晶石ハ白色顔料
製紙用等、重要用途ニ使用セラルルモノデ
アリマシテ、此際等は等ノモノヲモ鑛業法上
ノ鑛物中ニ追加シマシテ、其掘採事業ノ發
展ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、何卒慎
重御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ
冀ヒマス

子爵池田政時君 只今議題ニ上、ポリマシ

タ鑛業法中改正法律案ハ、關聯スル所ガア
リマスル故ニ、石油業法案ノ特別委員ニ併
託セラレムコトノ動議ヲ提出イタシマス

子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵近衛文麿君) 池田子爵ノ動議
ニ御異議ゴザイマセヌカ
○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認
メマス

議長(公爵近衛文麿君) 日程第三、朝鮮

私設鐵道補助法中改正法律案、日程第四、
臺灣私設鐵道補助法中改正法律案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ二案ヲ
一括シテ議題トナスコトニ御異議アリマセ
ヌカ
○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認
メマス、永井拓務大臣
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月二十二日
衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案
第一條 朝鮮總督ハ朝鮮ニ於テ公衆ノ用
ニ供スル爲經營スル私設鐵道ニ對シ該
鐵道營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限り補
助金ヲ交付スルコトヲ得
朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ更
ニ五年ヲ限り前項ノ期間ヲ伸長スルコ
トヲ得

第二條 前條ノ補助金ハ左ノ各號ニ依ル
金額ヲ限度トス
一 前條第一項ノ期間中ハ每營業年度
ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合
ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於
ケル益金カ建設費ニ對シ年一分ノ割
合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其
ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス
二 前條第二項ノ期間中ハ每營業年度
ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合
ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案
第一條 朝鮮總督ハ朝鮮ニ於テ公衆ノ用
ニ供スル爲經營スル私設鐵道ニ對シ該
鐵道營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限り補
助金ヲ交付スルコトヲ得
朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ更
ニ五年ヲ限り前項ノ期間ヲ伸長スルコ
トヲ得

第二條 前條ノ補助金ハ左ノ各號ニ依ル
金額ヲ限度トス
一 前條第一項ノ期間中ハ每營業年度
ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合
ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於
ケル益金カ建設費ニ對シ年一分ノ割
合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其
ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス
二 前條第二項ノ期間中ハ每營業年度
ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合
ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案
第一條 朝鮮總督ハ朝鮮ニ於テ公衆ノ用
ニ供スル爲經營スル私設鐵道ニ對シ該
鐵道營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限り補
助金ヲ交付スルコトヲ得
朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ更
ニ五年ヲ限り前項ノ期間ヲ伸長スルコ
トヲ得

第二條 前條ノ補助金ハ左ノ各號ニ依ル
金額ヲ限度トス
一 前條第一項ノ期間中ハ每營業年度
ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合
ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於
ケル益金カ建設費ニ對シ年一分ノ割
合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其
ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス
二 前條第二項ノ期間中ハ每營業年度
ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合
ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於

ケル益金カ建設費ニ對シ年一分五厘ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

第三條 朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ一經營者ノ經營スル鐵道ヲ數區ニ分チ各區ニ付テ二條ノ規定ニ準シ補助ヲ爲スコトヲ得

第四條中「前三條ノ規定ニ依ル益金、拂込資本金額、社債及借入金」ヲ「前二條ノ規定ニ依ル建設費及益金」ニ改ム

第七條中「補助ヲ受クル會社」ヲ「補助ヲ受クル鐵道ノ管理者」ニ改ム

第八條 削除
第十條中「前二條」ヲ「前條」ニ改ム

附則
本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日（朝鮮鐵道株式會社ニ在リテハ昭和九年十一月十四日）ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラス仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ノ期間ニ付テハ該鐵道ノ建設費ニ充テタル資金ニ對シ初メテ補助ヲ爲シタル日ヲ以テ第一條第一項ノ營業開始ノ日ト看做ス

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月二十二日
衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿

官報號外 昭和九年三月二十四日 貴族院議事速記第三十一號 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案外一件 第一讀會

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案
臺灣私設鐵道補助法中左ノ通改正ス
第一條 臺灣總督ハ臺灣ニ於テ公衆ノ用ニ供スル爲經營スル私設鐵道ニ對シ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限リ補助金ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ補助金ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合ニ相當スル金額ヲ限度トス但シ每營業年度ニ於ケル益金カ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

附則
本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助金計算ニ付テハ昭和九年三月三十一日ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ仍從前ノ例ニ依ル

（國務大臣永井柳太郎君演壇ニ登ル）
○國務大臣（永井柳太郎君） 只今議題トナリマシタ朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案及臺灣私設鐵道補助法中改正法律案、提出ノ理由ヲ説明イタシタイト存ジマス、朝鮮及臺灣ニ於ケル補助私設鐵道ハ、何レモ其營業成績ガ未ダ良好デナイノデアリマシテ、將來人口ノ増加、生活ノ向上及産業ノ發展等ヲ考慮ニ入レマシテモ、尙且ツ當分補助ヲ離レテ自立シ得ルコトハ困難ノ状態ニアルノデゴザイマス、從テ之ガ補助期間ヲ延長スル爲メ、朝鮮ニ於テハ現行ノ十五年ヲ、必要ニ應ジテ更ニ五年ヲ限リ延長シ得ルコトニ改メ、臺灣ニ於テハ現行ノ十年ヲ十五年ニ改ムルノ必要ヲ認メタノデアリマス、加之補助方法及補助率ニ付キマシテモ、私設鐵道助成ニ關スル從來ノ實踐ニ照

シ、且又金利ノ著シク低下シマシタ近時經濟界ノ趨勢等ニ鑑ミマシテ、現行補助方法及補助率ハ適當デナイト認メラマスノデ、内地地方鐵道ノ補助率等トノ均衡ヲモ考慮イタシマシテ、之ヲ改正スルコトト致シタノデアリマス、即チ朝鮮ニ於テハ現在ノ拂込資本、又ハ社債借入金ニ對シ年八分ノ割合ニ相當スル金額ヲ限度トシ、其利益不足額、又ハ利息相當額ヲ補助スルコトトナツテ居リマスノヲ、今回ハ建設費ニ對シテ年六分ノ割合ニ相當スル金額ヲ補助スルコトニ改メ、同時ニ利益金中建設費ニ對シ、年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ留保ヲ認メ、經營者ヲシテ自主的ニ且ツ自發的ニ益金ノ増加ニ努メシムルコトト致シタノデアリマス、尤モ右補助率及益金留保率ハ、營業ノ開始後十五年ヲ經過シナイ鐵道ニ對スルモノデアリマシテ、十五年ヲ超エタルモノニ付キマシテハ、更ニ自助ノ範圍ヲ擴大スルヲ適當ト認メマシテ、其補助率ヲ年五分、益金留保率ヲ年一分五厘ト致シタノデアリマス、又臺灣ニ於キマシテモ、現在建設費ニ對シ年八分ノ割合ニ相當スル金額ヲ限度トシ、其益金不足額ヲ補助スルコトトナツテ居リマスノヲ、朝鮮ト同様ノ趣旨ニ基キマシテ、建設費ニ對シ年六分ノ割合ニ相當スル金額ヲ補助スルコトトシ、同時ニ利益金中建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額迄ノ留保ヲ認メルコトニ改メタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上、御協贊ヲ賜ハラムコトヲ希望イタシマス

（菅原通敬君發言ノ許可ヲ求ム）
○議長（公爵近衛文麿君） 菅原君ハ……
○菅原通敬君 質問ヲ致シタイノデアリマスガ、簡單デアリマスカラ此席カラ御許

願ヒマス
○議長（公爵近衛文麿君） 宜シウゴザイマス
○菅原通敬君 朝鮮私設鐵道補助法ノ改正案ニ付テ同ツテ見タイト存ズルノデアリマス、只今改正案ニ付キマシテノ説明ヲ拜承イタシタノデアリマスガ、此附則ノコトニ付テハ、何等説明ヲ伺フコトガ出來ナカッタノデアリマス、附則ハ私設鐵道即チ現ニ補助ヲ受ケテ居ル鐵道ニ對スル補助ニ關スルコトデアリマシテ、之ニ付テハ所謂既得權ヲ尊重セラレルト云フ御趣意デアリマセウガ、新法ノ規定ニ拘ラズ舊補助法ノ規定ニ依ツテ補助ヲ與ヘルト云フヤウナコトニナツハ別ト致シマシテ、此規定ニ依リマス云フト、「本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラス仍從前ノ例ニ依ル」斯ウデアリマス、故ニ現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ト云フモノハ、總テ此規定ニ依ルモノト見ルベキモノデアルト思フノデアリマス、而シテ斯様ニ解シマス云フト、會社ノ資本金ニ對スル補助モ社債又ハ借入金ニ對スル利息ノ補助モ、此適用ヲ受ケベキモノニナラウト思フノデアリマス、サウ致シマススト云フト、從來社債又ハ借入金ノ利息ニ對スル補助ハ、社債登記ノ日又ハ借入ノ日カラ起算シテ十五年間補助ヲ與ヘルコトニナツテ居リマスモノガ、其利益ヲ失フコトニナルノデアリマス、例ヘバ茲ニ是ガ設立以來既ニ十年ヲ經過シテ居ル會社ガアル、是ガ設立後五年ノ後借入金ヲシタト云フトナリマススト云フト、其モ

シ、且又金利ノ著シク低下シマシタ近時經濟界ノ趨勢等ニ鑑ミマシテ、現行補助方法及補助率ハ適當デナイト認メラマスノデ、内地地方鐵道ノ補助率等トノ均衡ヲモ考慮イタシマシテ、之ヲ改正スルコトト致シタノデアリマス、即チ朝鮮ニ於テハ現在ノ拂込資本、又ハ社債借入金ニ對シ年八分ノ割合ニ相當スル金額ヲ限度トシ、其利益不足額、又ハ利息相當額ヲ補助スルコトトナツテ居リマスノヲ、今回ハ建設費ニ對シテ年六分ノ割合ニ相當スル金額ヲ補助スルコトニ改メ、同時ニ利益金中建設費ニ對シ、年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ留保ヲ認メ、經營者ヲシテ自主的ニ且ツ自發的ニ益金ノ増加ニ努メシムルコトト致シタノデアリマス、尤モ右補助率及益金留保率ハ、營業ノ開始後十五年ヲ經過シナイ鐵道ニ對スルモノデアリマシテ、十五年ヲ超エタルモノニ付キマシテハ、更ニ自助ノ範圍ヲ擴大スルヲ適當ト認メマシテ、其補助率ヲ年五分、益金留保率ヲ年一分五厘ト致シタノデアリマス、又臺灣ニ於キマシテモ、現在建設費ニ對シ年八分ノ割合ニ相當スル金額ヲ限度トシ、其益金不足額ヲ補助スルコトトナツテ居リマスノヲ、朝鮮ト同様ノ趣旨ニ基キマシテ、建設費ニ對シ年六分ノ割合ニ相當スル金額ヲ補助スルコトトシ、同時ニ利益金中建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額迄ノ留保ヲ認メルコトニ改メタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上、御協贊ヲ賜ハラムコトヲ希望イタシマス

願ヒマス
○議長（公爵近衛文麿君） 宜シウゴザイマス
○菅原通敬君 朝鮮私設鐵道補助法ノ改正案ニ付テ同ツテ見タイト存ズルノデアリマス、只今改正案ニ付キマシテノ説明ヲ拜承イタシタノデアリマスガ、此附則ノコトニ付テハ、何等説明ヲ伺フコトガ出來ナカッタノデアリマス、附則ハ私設鐵道即チ現ニ補助ヲ受ケテ居ル鐵道ニ對スル補助ニ關スルコトデアリマシテ、之ニ付テハ所謂既得權ヲ尊重セラレルト云フ御趣意デアリマセウガ、新法ノ規定ニ拘ラズ舊補助法ノ規定ニ依ツテ補助ヲ與ヘルト云フヤウナコトニナツハ別ト致シマシテ、此規定ニ依リマス云フト、「本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラス仍從前ノ例ニ依ル」斯ウデアリマス、故ニ現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ト云フモノハ、總テ此規定ニ依ルモノト見ルベキモノデアルト思フノデアリマス、而シテ斯様ニ解シマス云フト、會社ノ資本金ニ對スル補助モ社債又ハ借入金ニ對スル利息ノ補助モ、此適用ヲ受ケベキモノニナラウト思フノデアリマス、サウ致シマススト云フト、從來社債又ハ借入金ノ利息ニ對スル補助ハ、社債登記ノ日又ハ借入ノ日カラ起算シテ十五年間補助ヲ與ヘルコトニナツテ居リマスモノガ、其利益ヲ失フコトニナルノデアリマス、例ヘバ茲ニ是ガ設立以來既ニ十年ヲ經過シテ居ル會社ガアル、是ガ設立後五年ノ後借入金ヲシタト云フトナリマススト云フト、其モ

ノハ設立後五年目カラ更ニ十五年間ノ補助ヲ受ケ得ラレテ居タモノガ、今度ハ會社ノ設立登記ノ日カラ起算シテ十五年シカ補助ヲ貰フコトガ出來スト云フコトニナリマスト云フト、其五年間ノ補助ヲ受ケベキ利益ヲ奪ハレルトナルノデアリマス、左様ナコトデハ折角既設會社ニ對スル利益ヲ尊重シ、既得權ヲ尊重シテヤラウト云フタ此規定ト云フモノハ、其趣旨ニ副ハヌコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、其處ハドウナルノデス

〔國務大臣永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今ノ菅原サシノ御質問ハ、朝鮮私設鐵道ノ既得權ヲ尊重シナケレバナラスト云フ御趣旨カラ出タモノト存ズルノデアリマス、政府モ其點ハ全然同意デアリマシテ、只今御讀上ゲニナリマシタ通り、改正補助法ヲ適用セラレマス以前ノ鐵道ニ對シマシテハ、從來通りノ補助率ニ依ッテ其利益ヲ保證スルノデアリマス、唯區間別ノ利益保證ノコトニ御言及ニナリマシタガ、其區間別ノ利益保證ノコトハ從來ニ於キマシテモ之ヲ認メテ居ラナカッタノデアリマシテ、ソレハ將來ニ於キマシテモ同様ノ方針トナルノデアリマス、併ナガラ只今申上ゲマシタヤウニ、會社ノ全體トシテノ資本金並ニ社債借入金ニ對シマシテハ十五箇年間ハ從來諒解ノアツタ通りノ方法ニ依リマシテ、其利益保證ガ繼續セラレルトコトニナツテ居ルノデアリマシテ、此點ニ對シマシテハ當業者ガ何等特別ニ損失ヲ蒙ルコトハナイト存ズルノデゴザイマス

○菅原通敬君 只今ノ御説明ハ盡シテ居ラレヌヤウニ伺ヒマス、區間別ノ問題ト離レ

マシテ……其問題ニ付テハ又別ニ考ヘナケレバナリマセヌガ、區間別ノ問題ニ觸レナイデ、詰リ現行法ノ第二條ニ社債ニ付テハ社債登記ノ日、借入金ニ付テハ借入日カラ十五年間、其時カラ十五年間八分ノ補助ヲ與ヘル、斯ウ云フ規定ニナツテ居ル、此規定ハ此附則ノ第一項ニ依ッテハ、何等將來ニ向ッテ十五年間保證セラレルトコトハナイノデアリマス、デアリマスカラ若シ之ヲ御話ノ通りニ條文ヲ現ハスナラバ、拂込資本金ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ向フ十五年、社債又ハ借入金ニ付テハ社債登記ノ日又ハ借入ノ日ヨリ十五年、斯ウ兩様ニ掲ゲナケレバ法律トシテ意味ヲ爲サヌコトニナツテシマヒマス、御話ノヤウニ私設會社ニ付テハ既得ノ利益ヲ其儘繼續スベク補助シテヤルト云フ御趣旨ハ達セラレナイコトニナルト思ヒマス

〔國務大臣永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(永井柳太郎君) 重ネテノ御質問デアリマスガ、只今ノ御尋ノ御趣旨ハ實質ニ於テハ區間別補助ノ問題ニ歸スルヤウニ存ジマス、若シ其區間別補助ノ意味デナシニ、當初カラ計畫セラレタ線路ニ對シマシテ、投ゼラレル資本金ナリ、又ハ社債及借入金ナドニ對シマシテノ利益保證ハ、是ハ先程申上ゲマシタ通り其最初ノ登記ノ時ヨリ十五年間其利益ヲ保證セラルト云フコトニナルノデゴザイマス、唯新ラシキ別ノ區間ニ對シマシテノ投資並ニ借入金ノ場合ニ付テ、如何ニ取扱フカト云フコトガ御質疑ノ根柢ニナツテ居ルヤウニ存ジマスケレドモ、ソレハ從來區別シテ取扱ハナイコトガ方針ニナツテ居タノデアリマシテ、其方針ハ將來ト雖モ矢張り繼續スルコトニナ

ルノデゴザイマス

○菅原通敬君 既ニ借入若クハ社債ニ依ッテ建設費ノ中ニ入レテ使ッテシマツテ居ルモノデアルト云フモノニ對スル補助ハ、從前ノ通り矢張り社債若クハ借入ヲシタ日カラ受ケルノデアルカラ、前ノ利益ヲ失フコトハナイト仰セラレマス、サウナサルノガ當然デアリマスシ、又サウナケレバナラストノデアリマス、併ナガラソレハドウノ規定ニ基イテオヤリニナルノデアリマスガ、既設會社ノ現ニ補助ヲ受ケテ居ルモノニ對スル補助ノ規定ハ、此附則ノ第一項ニ依ルノ外ナイノデアリマス、所ガ是ハ唯拂込資本金ニ對スルモノダケヲ見テアツテ、社債又ハ借入金ニ對スルモノヲバ除カレテ居ル、或ハソレヲ落サレタノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、是ハ法文ノ不備デアルト私ハ考ヘテ居リマス、何カ御手違ヒデナカラウカトマデ思ッテ居ルノデアリマス、併シ今此處デ其問題ニ付テ餘リ應答申上ゲルコトハ差控ヘマス、何レ委員會ニ於キマシテ機會ガアリマシタナラバ、私ニモ質問應答ノ機會ヲ御與ヘ願ヒタイト思ッテ居リマス、ソレカラ附則ノ第二項デス、是ハ「本法施行ノ際ニ補助ヲ受ケル鐵道ニ對スル補助ノ期間ニ付テハ該鐵道ノ建設費ニ充テタル資金ニ對シ初メテ補助ヲ爲シタル日ヲ以テ第一條第一項ノ營業開始ノ日ト看做ス」ト斯ウ云フ規定デアリマス、是ハ必要ノナイ規定デハナイカト思ハレル、第一項ノ方ガ無イ場合ニ於テハ此規定ハ必要デアル、第一項ガ入ッ

タ以上ハ此規定ハ重複スルノミナラズ無用ノモノデアル、一口ニ申シマスト矛盾デア

ル、ト云フノハ既設會社ニ對スル補助ノ起算點ト云フモノハ、第一項ニ於テ設立登記

ノ日ヨリト云フコトヲモウ既ニ書イテアル、デアルカラ第二項ニ行ッテ此期間ニ付テノ起算點ヲ定メル必要ハナイ、デアルカラ其點カラ言ヘバ無用デアル、而シテ一方ハ設立登記ノ日カラト云ッテ居リ、此方ハ建設費ニ充テタル資金ニ對シ初メテ補助ヲ爲シタル日ト云フヤウナコトデ、矛盾スルコトニナル、是ハ私ノ見ル所デハ何等カノ矢張り御手違ヒデナイカ、第一項ト云フモノハ後カラ挿入サレタト云フコトヲ私ハ仄聞シテ居ルノデアリマスガ、其際ニ於ケル御審議ガ足リナカッタノデナイカト云フヤウニ迄疑フノデアリマス、何レ其問題ニ付テモ此處デ必シモ御答辯ヲ承ラスデモ宜シウゴザイマスガ、能ク御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔政府委員北島謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(北島謙次郎君) 只今ノ御質問ニ對シマシテ、私カラ便宜御答ヘ致シマス、附則ノ第一項但書ノ中デ「本法施行ノ際現ニ補助ヲ受ケル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間満了ノ日ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル」ト云フコトニナツテ居リマスルガ、是ハ拂込資本金ノミニ關スル規定デアツテ、社債及借入金ニ關スル規定デナイデハナイカト云フ御質問デアツタカト思ヒマスルガ、是ハ拂込資本金ノミニ關スル規定デゴザイマセヌデ、矢張り從來社債及借入金ニ對シテモ補助ヲ貰ッテ居リマスル會社ニ對シマシテ、其社債及借入金モ含メタ其補助金ニ付キマシテハ、矢張り從前ノ例ニ依ルト云フ意味デアリマス、ソレカラ第二項ハ是ハ現ニ補助ヲ受ケテ居ル鐵道ニ對スル補助期間ニ關スル例外規定デア

ル、ト云フノハ既設會社ニ對スル補助ノ起算點ト云フモノハ、第一項ニ於テ設立登記

リマス、第一項ノ規定ハ所謂従前ノ規定ニ依ツテ八分ノ補助フスルト云フ意味ノ經過規定デアリマシテ、第二項ハ補助期間ノ算定ニ對スル例外規定デゴザイマス、例ヘバ設立登記ノ日ト營業開始ノ日トノ間ニ二年ナリ三年ナリ開キガアリマシタ場合ニ、此規定ガ無イト致シマスルト、當然十五箇年間ノ補助ノ期間デアルベキモノガ、營業開始ノ日ガ設立登記ノ日ヨリモ遅レテ線路ガ出來マシテ補助ヲ致シマシタ、場合ニ於テハ、此規定ガナケレバ其設立登記ノ日ト、營業開始ノ日トノ二年ナリ三年ノ間ガ更ニ延長サレルト云フヤウナ結果ニナリマスルノデ、初メテ補助ヲ爲シタル日ヲ以テ第一條第一項ノ營業開始ノ日ト看做スト云フ規定ヲ特ニ置キマシテ、十五箇年ガ實際上二年ナリ三年ナリ延ビルト云フ結果ヲ避ケル爲ニ、特ニ設ケタ規定デアリマス、何レ委員會ノ席上デ或ハ詳シク御説明イタシマスケレドモ、一應申上ゲテ置キマス

○菅原通敬君 只今ノ御説明モドウモ要點ニ觸レテ居ラスヤウデアリマス、第一項ノ方ガ社債借入ニ付テ矢張り従前ノ通りノ補助ヲスル積リデアルト言ハレルケレドモ、此規定デハサウハナラス、若シ従前ノ通り補助ヲスルト云フモノデアラナラバ、矢張り設立登記ノ日カラ、或ハ借入ノ日カラ向フ十五年ト云フコトノ文字ガ入ラスト、是ハ單ニ設立登記ノ日カラ十五年、補助ニ付テハ概括的ニ書イテアル、デアリマスカラ拂込資本金ニ付テモ、又ハ社債借入金ニ付テモ、補助ニ關スルモノハ總テ會社設立登記ノ日カラ十五年、斯ウ解釋スベキガ當然デアアル、デアアルカラ若シ御趣意ノ通りトスレバ、拂込資本金ニ付テハ會社設立登記ノ

日カラ、社債又ハ借入金ニ對スル補助ニ付テハ借入又ハ登記ノ日カラト書キ分ケナケレバナラスノデハナイカト申シタ所以デアアルノデアリマス、ソレカラ第二項ハ第一項ノ除外例デアルト云フコトニ言ハレマシタガ、私ハ一向除外例デアルト解スルコトハ出來ナイ、何トナレバ私設會社、即チ現ニ補助ヲ受ケテ居ル鐵道ニ對スル補助期間ニ付テハ、前ノ第一項ニチヤント掲ゲテアル、全部何等取除ケナシニ包括的ニ書カレテアル、之ニ除外例ノアリヤウガナイ、總テソレハ設立登記ノ日カラト、斯ウ書イテアルノデアリマスカラ、該鐵道ノ建設費ニ充テタ資金ニ對シテ、初メテ補助ヲ爲シタル日ト云フコトガ起ツテ來ナイ、是モ能ク御研究ヲ願フコトニシテ、此案ニ對スル質問ハ打切りマス

○議長(公府近衛文麿君) 他ニ御質疑ガナケレバ兩案ハ、臺灣事業公債法中改正法律案外一件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公府近衛文麿君) 日程第五、臨時米穀移入調節法案、日程第六、政府所有米穀特別處理法案、日程第七、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ三案ハ之ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公府近衛文麿君) 御異議ナイト認ママス、後藤農林大臣

臨時米穀移入調節法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月二十二日

衆議院議長 秋田 清

臨時米穀移入調節法案

第一條 政府ハ朝鮮米及臺灣米ノ内地移入數量ヲ調節スル爲本法ニ依リ昭和十年三月三十一日迄朝鮮米及臺灣米ノ買入ヲ行フコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ買入ルル米穀ノ價格ハ勅令ノ定ムル一定價格以內ニ於テ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第三條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第一條ノ規定ニ依リ買入レタル米穀ノ賣渡、貯藏及加工ヲ爲スコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依ル賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第五條 本法ニ依ル朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、貯藏又ハ加工ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

政府所有米穀特別處理法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月二十二日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公府近衛文麿殿

政府所有米穀特別處理法案

第一條 政府ハ米穀ノ新規利用ニ關スル試驗研究ノ用ニ供スルトキ又ハ米穀ノ新規用途ノ開拓ノ爲必要アルトキニシテ米穀ノ市價ニ影響ヲ及ボサザル場合

ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ處分スルコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依ル米穀ノ處分ニ關スル重要事項ハ農林大臣米穀處理委員會ニ諮問シテ之ヲ定ム

第三條 第一條ノ規定ニ依ル米穀ノ處分ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月二十二日

衆議院議長 秋田 清

附則

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

第四條ノ三中「七億圓」ヲ「八億五千萬圓」ニ改ム

第六條ノ二 米穀ノ數量又ハ市價ノ變動ニ基ク買入數量ノ增加其ノ他避クベカラザル事由ニ因リ生ジタル豫算ノ不足ヲ補フ爲歲出豫算ニ豫備費ヲ設クルコトヲ得

附則

本法ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行ス

政府ハ當分ノ内必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ第四條ノ三ニ定ムル證券及借入金ノ額ヲ通ズル最高金額ヲ三億圓ノ範圍内ニ於テ増額スルコトヲ得

(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル)

○國務大臣(後藤文夫君) 便宜ノ爲ニ日程

第五、第七、第六ノ順序ヲ御説明ヲ申上

マス、第一ニ臨時米穀移入調節法案ヲ提出

イタシマシテ理由ヲ申上ガマスレバ、昭和

九年ノ十月末日ヲ以テ終リマスル一年ノ

間ニ於ケル内地ノ米ノ生産額ハ七千萬石ヲ

超エテ居ルノデアリマス、是ハ昭和八年度産

米ガ昭和九年米穀年度ノ米ノ生産額ノ供給ト

ナツテ現ハレル數字ヲ申シタノデアリマス、

實ニ未ダ會テ無イ所ノ大豐作ヲ現出イタシ

タノデアリマス、之ニ加ヘマシテ年々増殖

シテ參リマスル朝鮮米及臺灣米ノ内地移入

ノ數量ハ、所謂昭和九年米穀年度ニ於キマシ

テハ千二百萬石ノ多額ニ達スルモノト豫

想セラレノデアリマス、尙又昭和八、諸

君ノ昨年ノ米穀年度カラノ持越高モ多量ニ存

在イタシテ居リマスルノデ、内地ニ於ケル

米穀需給ノ關係ハ、著シク供給過剩ノ状態

ヲ呈シテ居リマス、然ルニ昨年御協賛ヲ得

マシタ米穀統制法ガ昨年ノ十一月カラ實施

セラレマシテ、此法律ニ依ル公定價格ノ買

上ガ十一月以來引續キ實行セラレテ參リ

居ルノデアリマス、政府買入米ノ數量ハ、

季節調節ノ買入ト申シマスモノト合セテ、

既ニ一千万石ヲ超ユル狀況ト相成ツテ居リ

マス、一面糶ノ貯藏ヲ獎勵スル施設等ト相

俟チマシテ、此政府ノ買上ガ斯ノ如キ供給

過剩ノ情勢ニアルニモ拘ラズ、市場ニ於ケ

ル米ノ需給關係ノ權衡ヲ得セシムルノニ相

當ナ效果ヲ擧ゲテ居リマシテ、米價ハ現在

ノ如キ状態ニ維持サレテ居ル次第デアリマ

スル、併ナガラ近年ノ如キ米穀ノ供給過

ニ内地ニ移入セラレマスル時ハ、特ニ米價

ヲ著シク壓迫スルコトハ、今更申ス迄モナ

イコトデアリマス、之ヲ適當ニ調節スルコ

トガ肝要デアルト存ゼラレルノデアリマ

ス、依テ朝鮮米及臺灣米ノ内地移入數量

ヲ、單ニ季節調節ニ止マラズ、稍長期ニ

互ツテ調節スル爲メ、内地ニ移入セラルル朝

鮮米及臺灣米ヲ政府ニ於テ特ニ買入ルルコ

トヲ得ルコトト致シマシタノガ、本法案ノ

骨子デアリマス、別ニ朝鮮臺灣ニ於テ現ニ

實行シテ居リマスル米ノ消費ノ増進、移出

減少ノ爲ノ施設、例ヘバ米ノ季節出廻り調

節ノ爲ノ貯藏獎勵デアリマストカ、糶ノ長

期貯藏ノ獎勵デアリマストカ、粟其他ノ雜

穀ノ輸入ノ調節等、是等ノ施設ニ付キマシ

テハ一層努力ヲ致シマスルコトト、此本法

ニ依ル買上トト併行ヒマシテ、差當リ朝

鮮米及臺灣米ノ移入ノ調節ヲ期セムトスル

次第デアリマス、尤モ右ハ臨時應急ノ施設

デアリマスルカラ、政府ハ引續イテ朝鮮米

及臺灣米ニ對スル根本對策ヲモ考究シテ、

速ニ成案ヲ得ルコトニ努ムルコトニ致シタ

イト考ヘテ居ルノデアリマス、從テ本制度

ニ依ル買入モ本會計年度末迄ト致シタ譯デ

アリマス、次ニ米穀需給調節特別會計法中

改正法律案、提出ノ理由ヲ説明申上ガマ

ス、只今申上ガマシタ如ク、米穀移入調節

法竝ニ現行ノ米穀統制法ノ圓滑ナル施行ヲ

圖ラムトスル爲ニハ、米穀需給調節事業資

金ヲ相當増額スルコトヲ必要ト致スノデア

リマス、又最近ノ米穀事情カラ考察イタシ

マス時ハ、此一定ノ増額ノ範圍内ニ於テ、

十分是ガ目的ヲ達シ得ナイヤウナ供給過剩

テハ、更ニ共事業資金ヲ増額シ得ルヤウ豫メ

方途ヲ開イテ置キタイト考ヘルノデアリマス、

之ニ依ツテ米穀統制ノ遂行上、資金ノ不足ノ

ナイヤウナ準備ヲ致シテ置キタイトモ思ヒマ

ス、尙ホ米穀統制上ノ必要ニ基ク米穀ノ買入

數量等ハ、米穀作柄ノ豊凶等ニ依リマシテ、

著シク相違ガ生ズルノデアリマス、從テ事

業資金ニ於テ一面用意ヲ致シテ置ク必要ガ

アリマスルノト、又此買入等ノ仕事ニ伴ヒ

マスル事業費ノ方面ニ於キマシテモ、大體

ハ普通ノ場合ニ於ケル買入數量等モ見込ミ

マシテ豫算ハ立テマスルケレドモ、ソレ

以上ノ必要ヲ生ジマシタヤウナ場合ニ於キ

マシテハ之ガ補充増額ヲスルコトガ出來

ルヤウニ致シテ置クコトガ適當デアルト認

メマシテ、本會計歲出豫算ニ豫備費ヲ設ク

ルコトト致シタノデアリマス、米穀資金ノ

増額ハ米穀移入調節法ノ實施ノ爲ニ一億五

千萬圓ノ増額ヲ致スコトト致シマシテ、尙

ホ更ニ今年ノ如キ大豐作ニ再ビ直面スルヤ

ウナ場合ガ若シアリトシタナラバ、其場合ニ

於ケル十分ナ、安全ナ措置ヲ致シテ置キタ

イト云フ趣旨カラ、三億圓ノ限度ヲ限リマ

シテ、其範圍内ニ於テ、必要ナ程度ダケ政

府ハ事業資金ノ増額ヲ致スコトガ出來ルト

云フ途ヲ開クト云フ趣旨ノ改正ヲ致サウト

致シテ居ルノデアリマス、其外ニ最後ニ申

上ガマシタ豫算ノ關係上、豫備費ト云フ豫

算ノ一目ヲ設ケテ置クコトニ致シタノデア

リマス、是ガ大體米穀需給調節特別會計法

中改正法律案ノ要旨デアリマス、次ニ我國

ニ於ケル、今申シタヤウナ米穀過剩ノ昨今

ノ狀況ニ鑑ミマシテ、米ノ需給ノ均衡ヲ得

アルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、之ガ

爲メ政府所有ノ米穀ヲ、新規利用ニ關スル

試験研究及米穀ノ新規用途ノ開拓ノ爲ニ、

米穀ノ市價ニ影響ヲ及ボサザル場合ニ限ッ

テ、特別ニ處分スルノ途ヲ開カムトスルノ

ガ、政府所有米穀特別處理法案ノ要旨デア

リマス、以上三案何卒御審議ノ上、御協贊

アラムコトヲ切望イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 本案ニ對シテハ

上山君ヨリ質疑ノ通告ガゴザイマス、上山

君ノ登壇ヲ望ミマス

(上山滿之進君演壇ニ登ル)

○上山滿之進君 諸君、米穀統制法ハ誠

ニ遺憾ナガラ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出

來ナカッタノデアリマス、ソレハ職責上勿論

農林大臣ノ責ニ歸スル譯デアリマスケレド

モ、併シ私ハ貴族院及衆議院モ確ニ其責任

ヲ分クナケレバナラヌト思ヒマス、又私一

個ト致シテハ農林省ノ米穀顧問ト云フモノ

デアリマス、確ニ私モ其責任ノ一半ヲ分ク

ナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、誠

ニ遺憾千萬デアリマス、併ナガラ私ハ此場

合ニ過去ノ責任ヲ論ズルノ暇ガナイノデア

リマス、國家ノ重大ナ問題ニナツテ參リマシ

タ、之ヲ將來如何ニスベキカト云フコトハ、

自分ノ責任問題ハ、先ヅ姑ク御預ケニシテ、

サウシテ忠實ニ之ヲ考ヘナケレバナラヌコ

トデアルト思フ、其意味ヲ以テ此場合ニ質

問ヲ致シマス、私ハ我が後藤農林大臣ガ非

常ニ熱心ニ忠實ニ此問題ニ當ラレタト云フ

コトヲ感謝イタシマス、併ナガラソレヲモ

先ヅ姑ク御預リシテ置キマシテ、免モ角モ

何トシテ此問題ノ將來ヲ解決シヤウカト云

フコトヲ、我ニハ考ヘナケレバナラヌノデ

アリマス、私ハ政府ニ五ツノ質問ヲ發シタ

イト思フノデアリマス、先ツ其問題ヲ讀上
ゲマス、第一問、政府ハ世間傳フルガ如ク
今年端境ノ持越米ヲ一千六七百萬石ノ莫大
ナル額ニ上ボルベシト思考スルヤ、將又
此額ハ大ニ減少シテ、甚シク米穀界ヲ脅
スコトナシト思惟スルヤ、第二問、最低價
格買入米九百餘萬石ハ將來如何ニ之ヲ處分
スルノ見込ナリヤ、第三問、調節事業資金
ハ將來幾許ヲ以テ足レリトスルノ成算アリ
ヤ、第四問、地方ハ賣過ギノ結果、民間在
米ノ不足ヲ來シタルベク、從テ遅クモ七八
月ノ交ニ至ラバ政府米拂下ノ要望ヲ生ズベ
シ、如何ニ之ニ處セムトスルヤ、第五問、
首相ハ衆議院ニ於テ内外地全部ニ通ズル
根本對策ヲ定メ、其成案ヲ得レバ出來秋
以前ニ臨時議會ヲ召集スベキコトヲ約
サレタルガ如シ、果シテ然ラバ、何故ニ
主トシテ出來秋以後ノ所要ニ充ツベキ
資金ノ増額ヲ依然要求セラルルヤ、是ガ
質問ノ要領デゴザイマス、第一ノ質問、即
チ政府ハ、今年ノ持越米ヲ千六七百萬石ニ
ナルト世間言ウテ居ル、ソレヲ正シイト
思ッテオイデニナルカ、又ソレハ減少スルモ
ノデアル、而モ其減少額ハ少カラザル、數
萬石ノ非常ナ多額ニ上ボル、從テ此年度末
ニ來年度へ持越ス米ハ、ソナニ驚クベキ
モノデナイト御考ヘニナルカト云フコトヲ
御尋ネシタイノデアリマス、免角世間デ今
年度ノ持越米ヲ非常ニ多ク言フノデアル、
政府モ何ダカサウ云フ風ニ考ヘテオイデニ
ナルヤウナ御言葉ガ時々現ハレル、ケレド
モ私ノ考ヘニ依リマス、斷ジテソナニ
大キナモノニナラヌト斯ウ思フ、此持越米
ガ大キイカ少ナイカト云フコトガ、今年ノ
米穀問題ノ非常ニ重大ナ點デアル、此點ヲ

明カニシナケレバ全ク水掛論ニナル、多イ
ト言ヒ少イト言ヒ、唯徒ニ世間ヲ惑ハスコ
トニナル、度々米ノ洪水ト云フコトヲ聞キ
マスケレドモ、私ニ言ハセマス云フト、
チヨットモ米ノ洪水デハナイ、米ノ洪水ト
云フノハ武藏野ノ逃ゲ水デアツテ、幻デア
リ陽炎デアルト云フヤウニ、私ニハドウシ
テモ思ハレル、是ハ私昨年八月頃ト思ヒマ
スガ、其頃カラ考ヘテ居ルコトデ、今日ニ
至ッテモ同様デアアルノミナラズ近頃又新シイ
材料ヲ……之ニ私ノ論ヲ肯定スル新シイ材
料ヲ加ヘタノデアリマス、第一ニ九年度ノ
米ノ産額、即チ昨年ノ産額、是ガ未曾有ノ
豐作ダト斯ウ言ハレルノデアリマスケレド
モ、私ニハ未曾有ノ豐作トハドウシテモ思
ハレナイ、或年ノ産額ヲ前年度ニ對比イタ
シマシテ、其増加額ガ昭和三年度及四年度
ハ共ニ七百萬石増加シテ居ル、八年度ハ五
百萬石増加シテ居ル、今年度ハ一千萬石ト
唱ヘラレテ居リマスケレドモ其實數ハ、實
際ノ増加額ハ凡ソ是ト伯仲ノ間柄ニ居ルモ
ノト私ハ思フ、ソレハドウ云フ譯カト申シ
マス、此九年度ノ産額調査、此調査方法
ガ過去ノ、從來ヤツテ來テ居ル調査方法ト
スツカリ變タノデアリマス、是ハ世間ニ普
通知ラレナイコトデアアルヤウニ思ハレマ
ス、以前ノ調査方法ハ大體調査スル人ノ大
凡ノ見當デセラレマシタモノヲ、昨年カラ
實地ニ就イテ、調査員ヲ實地ニ派遣シテセ
ラレタ、生産者及消費者、又輸送中ナラ其輸
送中ノ場所ニ付テ、實地ニ付テ調べタ、是
ハ其結果ドウシテモ正確ニ調べガ行キマス
カラ、増加スルノガ當リ前デアアル、ソレデ
結局幾ラ増加シタカト云フコトヲ計算スル
ノガナカノ、面倒デアアルケレドモ、是モ私

ノ見ル所デハ凡ソ見當ガ付ク、ト云フモノ
ハ大體毎年ノ産額、即チ實收額ハ、第一回、
第二回トアリマスガ、第二回豫想ノ收穫高
ニ比ベマシテ大キナ開キガナイ、大キナ開
キガナイト云フコトハ過去ニ於ケル事實デ
アル、最近昭和六年度及七年、此實收高ハ
第二回豫想高ニ比ベマシテ多シラモ二十萬
石内外、僅カナモノデアリマス、殆ド無イ
ト言ッテ宜イ、所ガ昨年ノ開キ、即チ昨年ノ
豫想高ト實收高ト比ベマスト四百八十八萬
石ト云フモノニナル、前々二年ハ二十萬石
内外デアツタノガ、昨年俄ニ四百八十八萬石
ニナルト云フコトハ誰ガ考ヘテモ不思議千
萬ナコトデアアル、是ハ先刻申シマシタヤウ
ニ、調査方法ガ變リマシテ、嚴密ニ調べタ
カラ、從來ハ調べ洩レデアツタ、隠レテ居
タモノガ表面ニ現ハレテ出タト云フノニ過
ギナイ、ドウシテモ此四百五十萬石位ハ昨
年調査方法ノ變更ニ依ッテ形式上増加シタ、
實質上デナクテ形式上増加シタト見ルノガ
當然デアアルト思フノデアリマス、サウ致シ
マスト昨年ノ收穫高ガ一千五十萬石殖エテ
居リマスガ、是ガ六百萬石ノ増加ト云フコ
トニナル、四百五十萬石ヲ引キマスカラ六
百萬石ノ増加ト云フコトニナル、政府デハ
此數字ヲ以テ何百何十萬石ト云フコトハ是
ハ出來マセヌノデ、私モ役人ヲシテ居リマシ
タカラ能ク知ッテ居リマスガ、サウハッキリ
シタコトハ言ヘナイ、言ヘナイカラ仕方ナ
シニ矢張り帳面上ニ現ハレタ數字ヲ提ゲ
テ、サウシテ昨年ノ實收高ト言ッテ居ラレ
ル、是ハ何モ私不思議デハナイト思ヒマス、
併シ私ナドガ考ヘルトサウハ行カヌ、スツ
カリ根柢ガ誤ッテ居ル、蓋シ政府モ何百何十
萬石ト云フコトハ仰セニナルコトハムヅカシ

イトハ思ヒマスケレドモ、數百萬石昨年ハ帳
面上殖エタト云フコトハ御認メニナルコト
ト思フ、現ニ農林省ノ御出シニナツタ米穀要
覽ノ中ニモ其意味ノ斷リガ書イテアル、ソ
レカラ只今ノ質問ハ最モ此問題ノ根柢ヲナ
スモノデアリマスカラ、オウルサイカ知レ
マセヌガ、モウ少シ詳シク數字ヲ以テ申上
ゲマス、ドウゾ御許シテ願ヒマス、只今マ
デ申シタノガ第一ノ點、第二ノ點ハ、現在
米調査ト云フコトヲ一昨年ノ十一月カラ又
調査方法ヲ變ヘタノデス、是等ノ調査方法
ヲ嚴密ニ致シマシタカラ、非常ニ澤山ナル
數量ガ帳簿上増加シタ、現實ニ増加シタノ
デナクシテ帳簿上増加シタ、其爲ニ此一年
間ノ米ノ消費量ト云フモノガ、昭和七年度
ハ前古未曾有ノ少額ニナツタ、少クナツタ、
數字ヲ申シマス、大正六年以降、一人當
リノ消費量ガ一石一斗ヲ降ツタコトハ僅ニ
二回シカナイ、六年以降二回シカナイノデ
アリマス、其二回ノ中デ一番少ナカッタノ
ガ一石七升七合ト云フノデ、此十數年ノ間
デ最少ナカッタ一石七升七合ニ比ベテ、昭
和七年ハ一石一升四合ト云フノデス、六升
以上ノ開キガ出テ居ル、ドウモ昭和七年ニ
限ッテ國民全體ガ米ヲ攝ラナイ、食ハナイ筈
ガナイ、チヨットモ食ハナイ筈ハナイ、是ガ
全ク在米數量ノ調査方法ガ十一月一日カラ
變リマシタノデ、詳シイコトハ申述ベマセヌ
ケレドモ、變ッテ其結果在米高ガ殖エタカラ、
消費高ノ方ガ今度減ツテ來タ、此高ガ凡ソ三
百三十萬石位ニナル、是ガ若シ普通ニ一人
當リノ消費量ト云フコトガ計算サレレバ、
一人當リノ消費量ガ殖エルノデアアルカラ、
其殖エタケハ在米高ノ方デ減ラナケレバ
ナラヌ、是モ私ノ申シマス大勢ハ政府モ御

認めニナルト思フノデスガ、唯數字ニ付テハキリ仰シヤルコトハ出来マイケレドモ、是モ數百萬石ノ間違ヒガアル、斯ウ云フコトニナル、若シ私ノ申ス如クデアルト、今日マデ普通唱ヘラレテ居ク理想持越米五百萬石ト云フモノハ、先ヅハ百萬石カラ八百五十萬石ト云フモノニナルダラウト思フ、例ヘバ本年ノ端境期ノ持越米ヲ千六百萬石ト致シマシテ、其中カラ八百五十萬石ヲ引キマスト幾ラニナリマスカ、餘程少イモノニナル、五百萬石ト八百何十萬石ト云フモノノ違ヒガ其處ニ現ハレテ來ル、過去ノ數字ヲ今日現ハレタ數字ト比ベテ、サウシテ直ニヒドクドウモ米ガ多クナルヤウニ言フノハ、大變ヲ誤リデアルト思フ、ソレカラモウ一ツ事實ヲ申上ゲタイノデアリマス、豐年ノ翌年ニハ必ズ國民ノ米ノ消費ガ殖エノデアリマス、是ハモウ争フベカラザル事柄デアアル、イツモ豐年ノ翌年ニハ殖エテ居ル、何故サウカト申シマスト、此生産增加ノ中デ翌年度ニ持越サレタ分量ハ生産增加量ノ一部分デアアル、米ガ何百萬石出來テモ、ソレデ何百萬石翌年ノ持越米ガ殖エカト云フト決シテ殖エナイ、其開キダケハ國民ガ消費シテ、豐年ノ翌年ニハ必ズ消費ガ増進スルノデアリマス、是ハモウ御迷惑デアリマセウガ、數字ヲチヨット申上ゲマス、昭和三年度ノ増産額ガ七百萬石、其持越増ガ二百萬石、三分ノ一ニ足リナイ、三分ノ二以下ト云フモノハ、消費ガ増加シテ居ル、昭和六年ノ増産ガ七百萬石、是ガ持越高ノ増ガ三百萬石、昭和八年度ガ増産ガ五百萬石、其持越高ガ百萬石ニ足リナイ、ソレデ必ズ豐年ノ翌年ニハ消費ガ、増加シテ居リマス、本年度モ蓋シ増スデア

ラウト思フ、サウ致シマスト、年度末ニ千六七百萬石餘ルト云フコトハ、是コソ全ク杞人ノ憂ニ屬スル、今年ノ三月一日ニ米ノ在米高ガ調ベラレマシタガ、在米高ガ調ベラレタ爲ニ昨年ノ十一月カラ二月マデ、此即チ米穀年度ノ三分ノ一ノ期間ニ於ケル消費量ト云フモノガ分リマシタ、是ハモウ勿論政府ノ調ベニ依ッテ出タ數字デアリマシガ、此四箇月ノ間ニ米ノ消費量ガ一箇月一人當リ一升殖エテ居リマス、一升ト申スト非常ニ小サイヤウデアリマスケレドモ、一升殖エテ居ル、一箇月一人當リ一升デゴザイマスカラ、十二箇月ニ合セルト一斗ニ升ニナル、一斗ニ升ヲ六千六百八十何萬ト云フ人口ガ食フノデアリマスカラ、大變チ數字ニ上ボッテ來ル、若シ此四箇月ノ消費シタ通りニ、今後此三月カラ十月マデノ八箇月間ニ消費スルモノト致シマスト、非常ニ額ニ上ボッテ來ル、假ニ申上ゲマスカ、後八箇月ノ消費量ガ五千五百萬石ト云フモノニナル、サウ致シマスト、本年ノ十一月一日ノ在米、即チ來年度ヘノ持越米、是ハ僅ニ六七百萬石ニシカナラヌノデアリマス、是ハ少シ私ハマダ數字ニ付テ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスカラ、私ハ斯ウナルトハ思ヒマセヌケレドモ、併シ之ヲ以テ見テモ本年ノ持越米ハ千六七百萬石ニ上ボルデアラウ、米ノ洪水デアアルト云フコトハドウモ、ドウ思ッテモ考ヘラレナイ、此三ツノ點ヲ根據ニ致シマシテ、私ハ本年ハソソナニ米ガ多イカラト云ウテ、心配スベキモノノデハナイト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソコデ政府ニ御尋ネ致シマスノハ、勿論私ガ申シタヤウニ何百何十萬石ドウダト云フコトニハ、是ハナラナイノガ當リ前デアリ

マスケレドモ、此世間ニ傳ヘラレテ居ル千六七百萬石ト云フ莫大ノ額ハ大イニ減少ヲシテ、サウシテ甚シク米穀界ヲ脅スモノノデナイト云フコトデアラウト私ハ思ヒマシガ、ソレハ如何デゴザイマスカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、蓋シ是ハ私否定出來ナイ事柄デアルト思フ、世間デハ徒ニ大キク思ッテ居ル、是ハドウシテモ世ノ惑ヒヲ解イテ置カストイカスト思ヒマス、此際ドウカサウ云フコトヲ御考ノ上デ御答辯ヲ願ヒタイト思フ、是ガ此問題ノ根本ニナルコトデアリマス、ソレカラ第二問ハ、政府ガ最低價格ヲ以テ買入レタ米ガ、今日凡ソ九百三十萬石位アルト思フノデアリマス、此九百餘萬石ノ米ヲ將來ドウナサレル御積リデアリマスカト云フコトヲ伺ヒタイ、此買フノハ最低價格二十三圓三十錢デ買ヒマシガ、之ヲ賣ル時ハ三十圓五十錢ニナラヌト賣レナイ米ナンデス、此米ハ、九百萬石ト云フ米ハドウシテモ三十圓五十錢ニナラニヤ賣レナイ、所ガ現在ノ市場ノ價格ハ公定價格ヲ以テ二十三圓三十錢ニ無理ヤリニ吊上ゲタ値段デアアル、吊上方モ可ナリ私共ハ多イト思フノデアリマスケレドモ、兎モ角モヒドク吊上ゲタモノデアアル、サウシテ一方デハ此吊上ゲタ價格デ、買ッタ米ハ三十圓五十錢デナケレバ賣レナイト云フ、サウスルト三十圓五十錢ニナルト云フコトハ、今日ノ如ク此高ク吊上ゲタ米ノ値段トシテ、三十圓五十錢ニ今後ズンノ上ッテ行クト云フコトハ到底期セラレナイ、今年ノ秋作ガ假ニ非常ナ凶作デアルト致シマシテモ、容易ニ此三十圓五十錢ノ市場米價ヲ抜クト云フコトハ私ハナイト思ヒマス、若シ豐作デアッタラ勿論、若シ平年作デアッテモ、更

ニ買上米コソ要求セラルレ、到底今ノ買入レタ米ヲ永久ニ處分スルコトニハナラナイ、三十圓五十錢ヲ上ヘ上ガルト云フコトハナイ、斯ウ云フ風ニ思ハレマス、是ハ誰デモ常識デハサウ考ヘテ居ル、此度何トカ新法案デ新規用途ヲ發見スルト云フ法律案ガ出テ居マスカ、是ハ固ヨリ此效力ハ未知數ノモノデアッテ、サウシテ又我モ普通考ヘテ居ルコトデハ、本當ノ僅カノ物シカ新規用途ニ充テラレナイ、僅カノ分量シカ新規用途ニ依ッテ消費スルコトガナイ、是ハ無論見込ハ立チマセヌガ、結局今ノ九百萬石ト云フモノヲドウスル御考デアリマセウカ、私ニモ實ハドウシタラ宜カラウカト云フ考ヘガ付カナイ、九百萬石ヲ唯デット持ッテ品傷メニナルコトヲ待ッテ居ルヨリ外途ガナイ、ト云フヤウニ思ハレル、三十圓五十錢以上ニ此米價ガ上ルト云フコトハ何人モ想像ガ出來ナイ、是ハ如何ニナサルカト云フコトヲ御尋ネスルノハ、餘リニモヒドイト思ヒマスケレドモ、併シ順序上下ウシテモ買ッタ米ヲ如何ニ處分スルカト云フコトノ見當ガ凡ソ立ッテ居ナケレバナラヌノデアリマスカラ、私ハ考ヘ及バヌ所ガアリマセウト思ヒマスノデ、政府ノ御考ハドウデアリマセウカト云フコトヲ伺フ、第三問、需給調節資金ハ將來ドウ位アッタラバ間ニ合フノデアルカト云フコトノ成算ガアリマスカ、唯金ガ無クナッタカラ、或ハ無クナリサウダカラ又一億圓増ス、一億五千圓増ス、四億五千圓増スト云フコトデハ、ドウモ我ニ納得ガ出來ナイ、國家財政ガ非常ニ危機ニ陥ルノデアリマス、デ過去ノコトヲ咎メル意味デハチヨットモアリマセヌガ、前議會ニ於テ既ニ二億圓ト云フ多額ノ資金ヲ増加

シテ、是ナラバヤッテ行ケルト云フ政府ニ
モ自信ガアリマシタラウシ、又我トシテ
モ是ナラバヤッテ行ケルト云フ自身ガナケ
レバ賛成スル譯モナイノデアリマス、所ガ
ヤッテ行ケナイ、ソレデ今度一億五千萬圓又
増サウ、更ニ豫備トシテ三億圓増サウ、四
億五千萬圓増サウ、昨年全ク見込ガ外レタ
ノガ今年ハ見込ガ立ツト云フノハドウ云フ
ノデアリマセウカ、如何ニモ世間ノ傳フル
如ク一千六七百萬石ノ未會有ノ持越米ガア
ルト言ヘバ、又ソレガ此度初メテ發見セラ
レタト言ヘバ、ソレハ一部分ノ理窟ハアリ
マス、ケレドモソレハサウデナイコトハ先
刻申述ベタ通りデ、今年ノ第二回ノ收穫
豫想ト、ソレカラ實收四百何十萬石ノ開キ
ト云フノハ、全ク調査ノ方法ノ變更デアリ
マシテ、今年ノ實收ハ明瞭ニ昨年ノ第二回
豫想ノ收穫高ト同ジデアリマス、ソレハ明
ニ八月ハサウデアッタ、是ハ證明ガ出來マ
ス、政府ノ御考モ矢張り其通りデアッタ、ソ
レガ現ハレテ來タノデアリマシテ、何モ本
年ノ收穫ガ實際ニヒドク多カッタカラ昨年
ノ豫定ガ今年行ハレナイ、不足ヲ生ズルト
云フ譯ハナイノデアリマス、然ルニ斯ウ云
フ多額ヲ要求ヲサレルト云フコトハ、ドウ
云フ成算ガアツテノコトデアリマセウカ、是
ガ伺ヒタイノデアリマス、第四回ハ、政府
ニ買上ヲ要求致シマシテ、政府ガソレヲ買
ヒマシテ、其額ガ九百何十萬石ニ上ボリマ
シタ、此爲ニ詰リ地方ハ賣リ過ギタ爲ニ、
民間ノ在米ガ甚シク不足ヲ來シタデアラウ
ト思フノデアリマス、是ハマダ實數ヲ……
今此處ニ實數ノ確カナモノヲ持合セマセヌ
カラ、實數ハ申シマセヌガ、是ハ不足ヲ來
シタコトハ確カデアリマス、サウナリマス

ト早速起ルカモ知レマセヌガ、晚クトモ七
八月頃ニナリマスト地方ニハ米ノ不足ヲ生
ズル、飯米ガ不足ヲ生ジテ來ル、政府米
ヲ拂下ゲテ吳レト云フ要求ガ出テ來ルト思
フ、之ヲドウ云フ風ニ處置ナサルカ、如何
ニモ政府ハ九百何十萬石ノ米ヲ持ッテ居リ
マス、何時デモ拂下ゲラレル、併シ此米ハ
先刻申シマシタ通りニ二十三圓三十錢デ買
ヒマシタケレドモ、三十圓五十錢ニナラナ
ケレバドウシテモ賣ルコトガ出來ナイ、賣
ルコトハ法ノ規定ガ許サナイ、結局三十圓
何十錢ト云フモノニナラナケレバデット仕
舞ッテ置クヨリ仕方ガナイ、ソコニドンナニ
細民ガ食糧ニ困ッテ着イ顔ヲシテ居ッテモ、
此處ニ大キナ藏ニ賣レナイ米ヲ積ンデ置カ
ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナル、是
ハ非常ナ人心ニ關係ノアルコトデアル、併
シ是ハドウシテモ賣レマセヌ、其外ノ政府
ノ所有米、季節調節デ買上ゲタ米トカ、ソ
レカラ前年カラ持越シタ米ガアリマス、此
米ガ四百五十萬石バカリアルカト思ヒマス
ガ、是ハ賣レマス、賣レマスガ季節調節買
上ハ最低價格即チ二十三圓三十錢ノ五分以
上ノ上値ニナラナケレバ賣レナイ、是ハ賣
ルト致シマセウ、賣ルト致シマシテモ是ガ
凡ソ百五十萬石バカリアリマス、朝鮮ニア
ルノト内地ニアルノト合セテ……、ソレカ
ラ前年カラ持越シタ米ガ三百萬石、是ハ賣
ルト致シテモサウ安ク賣ル譯ニハ到底行カ
ナイ、矢張り上値下レダケカソレハ知リマ
セヌガ、公定相場ノ二十三圓三十錢ノ下値
デ賣ルコトハ出來ナイ、是ハ賣ッタノデハ、
二十三圓三十錢ノ公定相場ヲ建テタト云フ
コトガ打壞シニナル、上値デナケレバ賣レ
マセヌガ、儲テ地方ノ小農ハ政府ガ買ッテ吳

レト云フカラ喜ンデ、又慌テテ二十三圓
三十錢デドンノ政府ハ賣上ゲテジマッタ
所ガ、七八月頃ニナルト今度ハ自分ノ食フ
米ハナイ、買ハナケレバナラヌ、其時ハ高
イ米ヲ買ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコト
ニナル、是モ非常ナ社會ノ人心ニ私影響ノ
アルコトト思ヒマス、ソレノミナラズ政府
ノ所有米ハ各地ニ行渡ッテ居リマセヌ、比較
的少數ナ地方ニシカナイノデ、其處カラ各
地ヘズツト配給ヲセナケレバナリマセヌ、各
地ニ要求ガ起ッテ各地ニ拂下ノ要求ガ起ル
トスレバ、各地ニ配給ヲシナケレバナラヌ、
其配給ヲスル運賃諸掛ト云フコトヲ考ヘナ
ケレバナラヌ、其運賃諸掛ト云フモノハ誰
ノ負擔ニナルカト云フト小農ノ負擔ニナ
ル、斯ウ云フ事態ニナッテ來ハセヌカト云フ
コトヲ憂フルノデアリマス、來ザルコトヲ
希望スルノデアリマスガ、來ハセヌカト云
フトコトヲ憂フルノデアリマスガ、是ハ容易ナ
ラヌ事柄ガ起ッテ來ハセヌカト云フコトヲ
心配ニ堪ヘヌノデアリマス、賣リ過ギノ結
果、此夏カラ秋ヘ掛ケテ政府米ノ拂下ノ要
求ガ出テ來ル、之ニ對シテドウナサル御積
リデアアルカト云フコトヲ伺ッテ見ナケレバ、
ドウシテモ安心ガ出來マセヌ、但シ茲ニ一ツ
途ノアルノハ整理米ト云フモノガアリマス、
傷ミ米、傷ンダ米ヲ賣出ス、是ハ勿論二十三
圓三十錢ヨリ高クハ賣レナイ、傷ンダ程度ニ
依ッテ幾ラ安ク賣ッテモ宜イノデアリマスガ、
併シソレハ宜イノデアリマスガ、ソレハ數量
ハ、ソレノ方ハ知レテ居ル、連モ全國ノ要望ニ
應ズル程ノ米ノ額ニハナラナイ、第五回ハ、
昨日總理大臣ハ衆議院ニ御出席ニナリマシ
テ、衆議院ノ附帶決議ニ米穀ノ數量及價格調
節ニ關スル現行制度ノ不備ヲ根本的ニ改正セ

ムカ爲速ニ審議會ヲ設ケ内地外地全部ニ通ス
ル統制計畫ヲ樹テ臨時議會ヲ召集シテ之ヲ
提出スヘシト云フ附帶決議ガ附キマシタ、
私ハ丁度衆議院ノ議事ヲ傍聽シテ居リマシ
タ、デ總理大臣ハ之ニ對シテ言明ヲサレマ
シタ、是ハ或ル新聞ニ出テ居ル所ヲチヨツ
讀ンデ見マスト、「政府ハ本案ノ通過後出來
ルダケ速ニ根本對策ヲ得ルコトニ努力シ、
成案ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ臨時議
會ノ召集ノ手續ヲ執リ、次ノ米穀年度ニ實
施シ得ルヤウ考慮シタイト思ヒマス」斯ウ
アリマス、勿論只今總理大臣カラシテ臨時
議會ヲ召集スルト云フコトヲ明言イタシマ
スコトハ是ハ出來マセヌガ、是ハ當然ダラ
ウト思ヒマスケレドモ、併シ御決意ノ程ハ
明ニ是デ知ラレマス、詰リ今年ノ出來秋マ
デニ臨時議會ヲ召集サレルモノト存ジマ
ス、又衆議院モ斯ク了解シテ此案ヲ通過サ
シタト思ヒマスシ、又私モ總理大臣ガ斯ク
マデ仰シヤレバ其通りデアラウト信ズルノ
デアリマス、果シテ其通りデアッタトスルナ
ラバ、今日ハ此初メノ提案ノ時トハスッカ
リ形勢ガ變ッテ居ルノデアリマス、臨時議會
ヲ召集スルト云フ御考ニナッテ居ルコトハ
確カデアリマス、必ズ召集スルト云フコト
ハ分リマセヌケレドモ、召集スル御考デア
ルト云フコトハ確カデアリマス、サウスル
ト出來秋迄ニ臨時議會ヲ召集サレルノナラ
バ、其出來秋以後ニ要求スル資金ノ増加ヲ
何故今日モ要求セラレルノデアリマスカト
言ヒタクナル、ト云フノハ此資金ノ用途ハ
來年ノ米、詰リ今年米ガ出來テカラ先ニ要
ル金デアリマス、尤モ此一億五千萬圓ノ方
ノ資金ハ是ハ昭和八年米ニ付テモ要ラシ
イノデス、ケレドモソレハ極ク少部分デア

ルト云フコトデアリマス、農林大臣ノ衆議院ニ於ケル説明ニ依リマシテモ、特別會計ノ増額ト共ニ實施イタシマスル臺灣米ノ買上ハ、昭和八年産米カラ昭和九年産米ニ互リマシテ、寧ロ多量ニ昭和九年ノ産米ニ振向ケル豫定デアリマス、多量ト云フノハ、ノ位カ分リマセヌガ、一億五千萬圓ノ大部分ハ昭和九年産米、即チ今年出來ル米ヲ買フノデアアル、斯ウ云フノデアリマス、サウスルト八年産米ヲ買フノハ僅カデアリマス、僅カノモノナラバ今ダツテマダ確カ一億圓以上アルト思ヒマス、又整理米ノ金モ相當ニ出ルト思フノデ、之ニ應ズルニ何ノ差支ハナイノデアアル、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、ドウ云フ譯デ臨時議會ヲ召集スルト云フコトノ御決心ガ出來タ今日ニ於テモ、矢張り來年度ノ分迄考ヘテ置カナケレバナラヌカト云フコトガドウシテモ分リマセヌ、私ハ本來申シマス政府ハ速ニ此根本策ヲ考究シテ、サウシテ來年度ニ應ズル確實ナ方法ヲ御立テニナルノガ宜イト斯ウ思フノデアリマス、今日世間デ傳ヘラレテ居ル米穀界ノ困窮、窮狀ト云フモノハ政府ノ御提案ノ理由ヲ伺ツテ見マス、何ダカ朝鮮米、臺灣米ノ統制ヲシナケレバナラス、又之ニ伴ウテ生産制限ヲシナケレバナラヌ、是サヘヤレバ此日本ノ米問題ハ解決スルノダ、斯ウ云フ風ニ思ツテハオイデニナラヌカト云フヤウニ考ヘルノデアリマスケレドモ、私ハ斷ジテサウデナイト思フ、如何ニモ朝鮮米臺灣米ノ非常ニ殺到スルコトハ是ハ困ルノデアリマス、困ルノデアリマスカラ相當ナ方法ヲ設ケナケレバナリマセヌガ、併シ朝鮮米、臺灣米ヲ除イテモ非常ニ重大ナ問題ガ此米穀政策ニ現ニアル

ノデアリマス、要スルニ今日ノ窮況ハ現在ノ米穀制度ノ缺陷ニ起因スルモノト斯ウ考ヘル、朝鮮臺灣ヲ、或部分ノ人ハヒドク目ノ敵ノヤウニシテ、追拂ハナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ驚クベキ間違ヒデアリマス、現ニ内地ノ生産ヲ以テ我ニ内地人ノ食糧ニ充テルコトハ出來マセヌ、古イコトハ別ト致シマシテ、昭和二年ノ米穀年度カラ昭和八年迄、年々八百萬石乃至千二百萬石ト云フモノヲ朝鮮臺灣カラ入レナケレバ國民ノ食糧ハ足りナイノデアリマス、ドウシテモ朝鮮臺灣ヲ除クト云フ譯ニハ行カナイ、外ノ點カラモ除クト云フ譯ニ行カセヌガ、此食糧ノ需給ノ關係カラ言ツテモ、我が内地ガ兩外地ニ負フ所ガ頗ル大デアルト云フコトハ忘レテハナラヌコトデアリマス、又ソレト一面ニハ一時ニヒドク殺到スルノハ朝鮮臺灣米ガ殺到スル、是ハ主トシテ朝鮮米デアリマスガ、朝鮮米ガ殺到スルカラ内地ノ米價ガ壓迫サレル、是モ事實デアアラウト思フ、此兩方ヲ調和スルト云フコトハ政府ノ非常ニ重大ナ責任デアリマス、ケレドモ私共露骨ニ申上ゲマス、今日迄内地ノ政府當局ナリ、朝鮮臺灣ノ當局ノヤリ方ガ甚ダ私共ノ腑ニ落チヌコトガ多イノデアリマス、互ニ自己ノ管轄、所管スル範圍ノ利益、バカリ考ヘテ

イ、ドウシテモ此根本問題ヲ解決シナケレバナラヌ、此根本問題ニ付テ十分ニ調査研究ヲ盡スト云フコトニ、總理大臣ガ御同意ニナツタコトハ誠ニ私ハ國家ノ慶事デアルト思フノデアリマス、根本問題ト申セバ色ニアリマス、此處デ數ヘ上ゲルコトノ出來ナイ程デアリマスガ、先以テ色色ノ中デ公定米價ヲ定ムルニ當テ、米ノ生産費ニ非常ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトガ、一體正シイカ正シクナイカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、私ニハ一定ノ説ガアリマス、是ハ私ノミノ説デハナイ、斯ウ云フコトモ一ツノ重大ナ問題デアリマス、又國民ノ一般ノ家計費、國民一般ノ暮シノ費用ヲドウ云フ風ニ考ヘタラ宜イカ、詰リ米ノ下値ヲ生産ニ依ツテ定メルト云フナラバ、上値ハ家計費ヲ定メナケレバナラヌノデアリマスガ、其家計費ヲドウシタラ宜イカ、是ハ調ベガ十分デアイカラ確實ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、是モ重大問題デアリマス、ソレカラ生産費ノ調査ヲ二千何百戸カラ取ツテ内地デ調べラレテ居リマスガ、其調査ノ結果ヲ役所デ纏メテ取扱フ、其取扱方ガ一體適當デアアルカドウカト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、現ニ七年度ノ生産費ハ二十圓六十八錢トナツテ居リマス、七年度ハ二十圓六十八錢デアアルノガ八年度ハ二十二圓十七錢ト云フモノニナツテ居ル、何故一同五十錢モ上ツタカ、其八年度ト云フノハ非常ニ生産ノ多イ、米ノ洪水ガ起リサウダト言ハレル程産額ガ多カッタ、産額ガ多クレバ生産費ガ下ルコトガ當リ前デアリマス、ソレガ却ツテ逆ニ一圓五十錢モ上ツタ、斯ウ云フコトハドウ云フモノデアラウカ、ソレカラ七年度ノ生産費ノ調べノ

中デ、是ハ確カ十五圓カラ三十圓ノモノヲ平均シテ出シテアルト思ヒマスガ、八年度ハ今度ハ十八圓カラ二十三圓ノモノガ平均シテアル、此取扱方ガ一體適當デアアルカドウカト云フヤウナコトモ問題デアアル、物價參酌値ヲ下値一割、上値二三割、是デ以テ最低物價ト最高物價ヲ定メル一ツノ標準ニナツテ居ルト云フコトガ、果シテ適當デアアルカドウカ、米價ノ過當ナル吊上ガ却テ生産ヲ獎勵スル、内地ノ生産モ獎勵スルガ、朝鮮、臺灣ノ生産モ獎勵スルト云フコトガアリハセヌカ、又適當ノ吊上ハ却テ國民ノ消費ヲ抑制スル、抑ヘルト云フコトガアリハセヌカト云フヤウナ問題ハ幾ラデアリマス、斯ウ云フコトヲ考究スルト云フコトハ非常ニ宜イコトト思フ、ソレヲ考究シテ初メテ米ノ問題ガ解決スルノデアリマスガ、ソレヲ考究シヤウト總理大臣モ御考ニナツテ居ルシ、又考究ガ出來タラバ出來秋迄ニ臨時議會ヲ召集シヤウト仰セニナツテ居ルシ、又此問題ノ結論ヲ得ラレナイト云フコトハ斷ジテナイ、今ハマダ三月デアリマス、出來秋迄ニハ半年時ガアル、半年デ出來ナケレバ一年カカツテモ、二年カカツテモ出來ハシナイ、十分ニ考究スル期間ガアリマス、サウスルト臨時議會ヲ召集サレルト云フコトハ當然ノコトデアアルヤウニ思フノデアリマス、サウスルト何モ來年度ニ要スル三億圓ハ勿論ノ話、大部分來年度ニ要スル一億五千萬圓ヲドウシテモ此際通サナケレバナラヌト云フコトハ、私ニハ理由ヲ發見スルニ苦シムノデアリマス、是デ私ノ質問ハ終リマシタ、大變長ク而モ細カイ數字ヲ擧ゲテ諸君ノ御清聴ヲ煩ハシタコトヲ此場合ニ謝シマス

〔副議長伯爵松平頼壽君議長席ニ著ク〕

(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル)

○國務大臣(後藤文夫君) 只今上山サンカラ御質問ニ併セテ、深い平素ノ御研究ノ結果ニ基ク各種ノ數字ヲ御學ゲニナツテ質問ノ趣旨ヲ明カニセラレタノデアリマス、私ハ深く傾聴ヲ申上ゲタ譯デアリマス、ソレニ付キマシテ質問ノ要旨ニ搔擗シテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一今年ノ端境期ノ持越米ガ世間デ千六七百萬石ニナルト言ハレテ居ルガ、政府モサウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアルカ、其推算ハ御自身ノ色ニナ基礎カラノ御研究ニ依レバ非常ニ間違ッテ居ルヤウダ、格別多クノ持越米ガ端境期ニ生ズルノデアリナイデアラウト推算ヲスルノダ、サウスレバソレヲ基礎ニシテ色ニナ方策ヲ慌テテ立テルニモ及バナイデハナイカ、斯ウ云フ御意見ニ基イテノ御質問デアリマシタ、是ハ一ツノ御見解デアルト存ジマス、併ナガラ色ニ基礎ニ付テノ御話ハアリマシタガ、政府ハ大體矢張り千六七百萬石ノ過剩米ガ出來ルモノト云フ計算ヲ立テマシテ、ソレヲ基礎ニ處置ヲ講ジテ置クコトガ一番安全デアリ、今日ノ米穀事情ニ處シマシテ、農村初メ一般ノ經濟上ノ安定ヲ得セシムルノニ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、今年ノ...今年ト申シマスト昭和八年ノ産米デアリマスガ、産米ガ大豐作デアッタ、未曾有ノ大豐作デアッタト云フコトヲ申シマスノハ、最後ニ實收高ノ調査ヲ完結イタシマシテ、是ハ争ヘナイ所デアルト感シタノデアリマス、上山サンノ御推算ニ依リマス、實收高ノ調査方法ガ違ッテ居ルコトガ、可ナリ實收高ヲ増加セシメテ居ルデアラウ、實際ハ左程デナカッタノデアラウト云フ御推測デアリマス、我々モ實收

高ノ調査方法ガ大分精密ニナリマシタノデ、ソレガ爲ニ平年ナラバ隠レテ居ル數字ガ此實收高ニ現ハレテ居ラウト云フコトハ推測ヲ致シテ居リマス、併ナガラ是ガ何程其中ニ現ハレテ居ルカ、何百萬石現ハレテ居ルカト云フコトハ、全ク判斷ノ出來ナイコトデアリマス、サウシテ一而試驗場其他各地ニ於ケル實際ノ收穫ノ事例ヲ見マスト云フト、昨年ノ收穫ガ可ナリ大キナ増産デアッタト云フト推測スルニ十分ナノデアリマス、從テ此七千萬石以上ト云フ數字ガ、不斷ノ是迄ノ調査デアッタナラバ、其幾ラカ内輪デアッタデアラウト云フ推測ハ我々モ致シマス、併ナガラ何程内輪デアッタカト云フトハ全ク判斷ガ出來マセヌ、矢張り我々ミトシテハ此計數ニ現ハレタモノガ増産デアルトシテ、將來ノ計ヲ立テルコトガ一番今日ノ場合安全デアルト考ヘテ居リマス、サウ致シマスルト矢張り千六七百萬石ノ端境期ノ持越ヲ生ズルデアラウト云フ推算ニ相成ルノデアリマス、尙ホ是ニ付テ消費ノ關係ヲモ御學ゲニナリマシタガ、消費ノ一人當リト云フ計算ハ、誠ニ困難ナ實ハ計算ナノデアリマス、是迄政府ガ致スノモ一般ノ世間デ行ヒマスノモ、一人ガ何程平均使フデアラウカト云フ實地ニ付テノ調査ハ全クナイノデアリマス、分ラナイノデアリマス、唯米ガ一年前ニ何程アツタ、ソレカラ一年後ニ收穫ト加ヘテ何程アツタ、其差ガ幾ラダカラ其間ニ是ダケ減ッテ居ルノガ消費サレタモノデアラウ、海外ヘ出タリ方々ノ輸出入ノ關係等ヲ差引キ致シマシテ、結局是ダケ減ッテ居ルカラ、ソレガ此間ニ消費サレタモノデアラウ、ソレヲ人口デ割ッテ、一人當リ幾ラダト遊算シテ毎年

出シテ居リマス、從テ收穫高ノ調査ナリ又現在高ノ調査ナリト云フモノガ動キマスト云フト、消費ノ關係ヲ見ル數字ガ動イテ來ルト云フヤウナ形ニナリマシテ、今日マデノ所本當ニ頼リニナル一人當リノ消費量ト云フモノヲ、推算スルコトハ困難ナノデアリマス、併ナガラ我が致シマスルノニハ、矢張り此過去ノ實蹟ヲ見マシテ遊算シタ數字ヲ用ヒル外ニハ今日アリマセヌ、色ニ之ニ考ヲ入レテ判斷ヲシテ、ソレニ割増ヲシタリ、割引ヲシタリスル方法モゴザイマセウケレドモ、政府ガ特別ニ實際政策ノ基礎ニ致シマスニハ、矢張り在來行ッテ居リマスルヤウナ、毎年出マス遊算ノ消費量ト云フモノヲ、大凡ソ過去ヲ平均シテ將來ヲ推測スルト云フヨリ外ニハナイノデアリマス、サウ致シマスルト云フト矢張り上山サンノ仰セラレタヤウナ考ヘ方ヲ以テ、直ニ之ヲ現實政策ノ基礎ノ數字ニ致ス譯ニ行キマセヌ、我々ハ是マデ行ヒ來ッテ大體常識的ナ方法ト致シマシテ推算ヲスルト、矢張り千六七百萬石ノ過剩米ガ端境期ニ出來ルト云フ推算ニ大凡ソ相成ルノデアリマス、尤モ今後ノ米ノ消費ガドウ云フ工合ニナリマスガ、又政府ノ持ッテ居ル米ヲ領土外ニ處分イタシマスヤウナコトハ相當出來マスカ否カニ依ッテ、或程度ノ計數ノ相違ハ生ジテ參リマス、是ハ的確ナ豫定ハ全然出來ナイ事柄デアリマスガ、成ルベク之ヲ安全ニ見積リマシテ推算ヲ立テテ參リマス、千六七百萬石ト云フモノガ端境期ニ持越サレルデアラウト考ヘルノデアリマス、從テ上山サンノ仰セラレルヤウニ大シテ過剩持越シハ、政府持越シト云フモノヲ差引クトナイモノデアラウト云フト

ニ考ヘマスレバ、今日御協贊ヲ願ッテ居ルヤウナ案モ、急イデ出スニモ及バナイト云フ御結論ニナルデアラウト思ヒマスガ、我々ノ見ル所デハ矢張り此過剩米ノ存在ヲ前提ト致シマシテ、只今申シタ數量ノ存在ヲ前提ト致シマシテ、今年及ビ來年ニ掛ケテノ方策ヲ樹立シテ、用意ヲ致シテ置クニアラザレバ、今後ノ一年間ニ於ケル米價ノ安定ト云フモノヲ圖ル上ニ、非常ナ不安ナ状態ヲ貽シテ行クト云フヤウニ相成ルヤウニ思フノデアリマス、ソレカラ第二ニ最低價格ヲ買上ゲタ米ガ九百餘萬石ニ上ボッテ居ルガ、是ハ將來ノ處置ノ困難ナモノデアラウ、ドウ云フ風ニ處置サレル見込ミデアアルカト云フ御尋デアリマス、米穀統制法ヲ施行シテ參リマスルノニハ、最低價格ノ維持ヲ圖ルト共ニ、最高價格以上ニ米價ノ上ラナイヤウニスルト云フ任組ニナツテ居リマス、從テ統制法ノ下ニ於キマシテハ、政府ガ四五百萬石ノ米ヲ持續ケテ參ルト云フトハ、大體考ヘテ居ラナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、最高價格ヲ維持スルト云フ場合ガ來マシタ時分ニ政府ニ持米ガナイ、或ハ非常ニ貧窮デアルト云フトデハ餘程困ル事情ガ生ズルト思ヒマス、四五百萬石ノ米ハ買換等ヲ行ヒマシテ、成ルベク其損失ヲ少ク爲スヤウニ致シテ、持續ケテモ宜イト云フ考デアリマス、是ハ實際ノ事情ニ即シテノ話ス、併ナガラ是ハ實際ノ事情ニ即シテノ話デアリマシテ、強ヒテソレダケ持タナケレバナラヌト云フノデアリマセヌケレドモ、持ッテ居ルト云フトモ大體前提ト致シテモ宜シイノデヤナイカト思ヒマス、サウ致シマス、其殘餘ノ米ハ處分ヲドウスルカト云フ問題ニナリマス、是ハ新規用途等

ノ開拓ノ研究モ、成ルベク急イデヤリタイ
ト思フテ居リマスルシ、又今日ノ國際經濟
市場ニ於テ、海外賣却ガ自由ニ參ルト
ハ申サレマセヌケレドモ、出來得レバ海
外ニ、國際貿易ノ關係ニ惡イ影響等ヲ及
ボスヤウナコトノナイヤウナ用意ヲ十分
ニ致シテ、處分ヲ致シタイト思ヒマスル
シ、又其間ニ整理賣却等ノコトモ起ッテ
參リマスルシ、殘餘ノ四五百萬石ノ米ノ處
置ハ急速ニ、半年乃至一年ニ全部ヤッテシマ
フト云フコトハ困難デアリマセウケレド
モ、年所ヲ多少要シマスレバ、是方處置ハ
必シモ困難デハナイト思フノデアリマス、
併ナガラ更ニ其上ニ又來年モ米ノ買上ヲス
ルト云フヤウナコトガ續ケバ仕樣ガナクナ
ルノデヤナイカ、無限ニ蓄積ヲスルノデハ
ナイカト云フヤウナ御質問モ併セテアッタ
ヤウデアリマス、是等ノ點ニ對シマシテハ
一面ニ消費ノ方面ノ開拓、一面ニハ生産ノ
方面ニ於ケル統制、其他ノ根本的ノ統制法
ノ外廓ニ於ケル工作ガ、將來準備サレナケ
レバナラヌト云フコトヲ我ミモ考ヘテ居リ
マス、ソレ等ノ點ニ付テハ今後十分ニ考究
ヲシテ、方法ヲ立テタイト考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ第三ニ調節事業資金ハ
將來幾許ヲ要スル見込デアルカ、何時迄デ
モ足りナクナレバ増ス、足りナクナレバ増
スト云フコトデ行クノデハ致方ガナイデハ
ナイカ、此調節事業資金ガ米穀統制法ヲ運
用シテ參リマス上ニ、將來幾許マデ行ケバ
止マルカ、或ハ幾許マデ行ッテモ止マラナ
イカト云フコトヲ今日明ニ申上ゲルコトハ
困難デアリマス、唯在來米穀法ヲ實施シテ
カラ今日ノ統制法ニ至リマスルマデ十數年
ノ間、相當ニ米穀需給特別會計ノ資金ハ、

所謂損失ト云フモノヲ現ハシテ參ッテ居リ
マス、此統制法ノ運用ニ入リマスル時ニ、
昨年ノ十一月ノ初ニ於テ約二億ニ近イ、所
謂損失ト稱スル數字ヲ現ハシテ居ルノデア
リマス、其後統制法ノ運用ニ入ッテ參ッテ譯
デアリマス、デ是等ノモノガ色ニノ批評ハ
アリマスルケレドモ、營利的ナ計算ヲ致ス
事業特別會計ナドト違ヒマシテ、米穀政策
ガ一種ノ國家ノ必要ナ政策トシテ行ハレテ
參リマスル限リ、ウマク參リマスレバ所謂
特別會計ニ欠損モ生ジナイヤウナコトモア
リ得ルト云フ想像ハ付クノデアリマス、又
サウ云フ風ニ元ノ米穀特別會計ハ説明サレ
テ樹立サレタノデアリマスルケレドモ、近
年ノ經濟狀況ニ鑑ミテ見マスルト云フト、
矢張り米穀政策運用ノ爲ニ、國民ノ負擔ス
ル失費ガ、自ら此特別會計ノ中デ現ハレテ
來テ居ルト云フコトニ考ヘタ方ガ適切デア
ラウト思フノデアリマス、デサウ言ッテヤウ
ナ國民ノ負擔ニ屬スル失費ガ特別會計ノ中
デ現ハレテ來ルト云フコトハ、今後ノ統制
法ノ運用ヲ續ケテ參リマス上ニモ、將來相
當ニ續イテ參ルデアラウト思ヒマス、併ナ
ガラ我ミトシテハ其失費ヲ最少限度ニ止メ
ルト云フ用意ヲシ、又努力ヲ致サナケレバ
ナラヌ、致シタイト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、唯米穀統制法ガ昨年十一月實施ヲセラ
レマスルヤ、恰モ上山サンノ御推測デハ
大シク豊作デナイトモ仰セラレテ居リマ
スルガ、我ミノ今日マデノ考デ見マシテ
ハ、未曾有ノ大豊作ニ臨シダノデアリ
マシテ、千萬石ニ近イ最低價格ノ買入ヲ
モ致スト云フヤウナ事情ニ、統制法ノ結
果ガ相成ックノデアリマシテ、實ハ是ハ統
制法制定ノ時ニ於テ我ミハ豫想シナカッタ

程ノ大キナ數字ニ上ボッタノデアリマス、從
テ統制法制定ノ初年ニ於テ、又更ニ今後
ノ資金ノ増額ヲ考ヘナケレバナラヌ事態ニ
陥リマシタノデアリマスルケレドモ、統制
法ヲ實施シテマダ僅ニ半歲、米ノ出來秋ニ
ハ一回シカ臨シデ居ラナイノデアリマス、
之ヲ以テ統制法ノ功罪ヲ判斷スルコトハ非
常ニ早イノデアルト私ハ考ヘテ居ルノデア
リマス、從テ今回ノ資金増額竝ニ萬一ノ場
合ニ資金ヲ更ニ増額シ得ル限度ヲ定メテ置
イテ、其範圍内デ必要ナダケノ増額ヲスル
途ヲ開イテ置イテ戴キマスト云フコトハ、
第一ニ申シマシタ過剩米ノ狀況カラ考ヘ、
更ニ今年ノ出來秋ニ於テ又昨年ト同ジヤウ
ナ大豊作ガ來タルモノト一應想像イタシマ
シテ、サウ云フ場合ニモ應ジ得ル準備ヲ致
スト云フ爲ニ、此特別會計ノ二段ノ増額、
一ツハ確實ニ増額シテ戴ク、一ツハサウ云
フヤウナ事態ガ若シ起ッタ時ニモ安心ノ行
クダケノ處置ヲ付ケテ置イテ戴カウト云フ
爲メノ、増額ヲ爲シ得ル途ヲ開イテ置クコ
トニ致シマスル方法、此二段ノ方法ヲ御願
ヲ致シテ居ル譯ナノデアリマス、上山サン
ノ御想像ノ如ク一切ガ幸ニ過剩モナク、非
常ニ工合好ク參ルコトデアリマスレバ、是
等ノ準備ハ準備ニ止マリマシテ、格別ノ支
出ヲセズニ濟ムコトニナルカモ知レスト思
ヒマスルガ、サウナリマスレバ我ミモ誠ニ結
構ダト考ヘルノデアリマスガ、併シ是迄ノ
事例及昨年ノ事實ニ徴シテ見マシテ、將來
ノ安全ノ措置ト云フモノヲ致シテ置カナケ
レバ米穀ノ關係ガ非常ニ不安ヲ生ジテ參リ
マシテ、米價等ニモ不安定ナ實情ヲ表ハス
度レガアリマスノデ、此今年ノ端境期カラ
來年ニ掛ケテノ處置ヲ中心ニシマシテ法案

ノ提出ヲ致シタ譯デアリマス、ソレカラ第
四ニ地方デ賣急ギヲシテシマッタ爲ニ、持米
ガ少クナッテ七八月ノ交ニナレバ、小農以下
ノモノハ、又米ノ拂下ヲ政府ニ求メルト云
フヤウナ事態ニナリハセヌカ、サウ云フ懸
念ガアルガ、ドウカト云フ御尋ネデアリマ
シタ、是ハ實際ノ實情ニ付キマシテ見マセ
ヌト、勿論ハッキリ致サナイコトデアリマス
ガ、若シサウ云フコトガアリマシタトシテ
モ、サウ廣汎ニ各地方ニ互ッテ起ルト云フコ
トモアルマイト思ッテ居リマス、又サウ云フ
事態ガアリマシテモ、糶ノ貯藏ヲ相當ノ數
量イタサセテ居ルノデアリマスカラ、糶ノ
貯藏ヲ解除シテヤルト云フ途ガ第一段ニハ
アルト思ヒマス、ソレカラ次ニ誠ニ困窮ヲ
シテ居ル町村等ニ、或ハ府縣ニ對シテ或ハ
町村ニ對シテ、延納ノ拂下ガ致シマス
カ、貸付ヲ致シマスト云フヤウナ途ガ開
イテアリマス、是ハ古米等ノ廉價ニ拂下ゲ
ノ出來ルモノヲ處置スル、或ハ整理米ヲ處
置スルト云フ限度ニ於キマシテ、相當ノ始
末ハ付クコトト思ヒマス、在來ノ斯ウ云フ
場合ニ處スル方法ヲ行フコトニ依ッテ、ソレ
ハ實情ニ應ズルコトガ出來ルダラウト思ヒ
マス、又懸念サレルガ如クニ、サウ云ッテコ
トヲ非常ニ廣汎ニ行フト云フコトハ、一面
ニ米價ノ維持ヲ圖ルコトト衝突ヲ起ス虞レ
ガナイトハ限ラヌノデアリマスカラ、在來
ト同様ナ用意ヲ以テ之ニ處シナケレバナラ
ヌト考ヘテ居リマス、政府ガ買上ゲヲスル
コトニシタガ爲ニ、特ニ七八月ニ拂下要
求ガ多ク起ルノデハナイカト云フヤウナ御
話モアリマシタガ、私共ノ觀ル所デハ此出
來秋ニ米ヲ賣急ギ小農ハ、米價ノ高低ニ拘
ラズ賣急ギヲセザルヲ得ナイ事情ニアッテ

實急ギラスルノデアリマスカラ、今年ノ如ク米價ガ豐作ニモ拘ラズ比較的安定ラシテ、出來秋ニモ政府ニ賣リ或ハ政府外ニ特ニ相當ノ値段ヲ賣ツタト云フ事情ハ、小農以下ノモノニ取リマシテハ、是方放任サレテ居ル時ヨリモ悪イ状態ニ、小農ガ陥ルノダト云フ譯デハナイト私ハ想像イタスノデアリマス、ソレカラ第五ニ臨時議會ノコトニ付テ御尋ネガアリマシタ、臨時議會ヲ開ク政府ガ決心ヲ持ツナラバ、主トシテ此出來秋後ニ用ヒラレル此法案ハ、今ヤラナイデモ宜イデヤナイカ、臨時議會ヲ待ツテ總テノコトヲ處置シ得タラ宜クハナイカト云フ御尋ネデアリマシタガ、是ハ御尋ネノ中ニモアリマシタヤウニ、政府ハ出來ル限リ今後速ニ調査ヲ遂ゲテ、成案ヲ得マシタナラバ、臨時議會ヲ開イテ實施ヲスル、來米穀年度ニモ間ニ合フヤウニ考慮ラシヤウト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマスケレドモ、臨時議會ヲ開クコトハ成案ガ出來ルト云フコトト關聯ヲスルノデアリマス、又假ニ臨時議會ヲ開クコトニ相成リマシテモ、臨時議會ニ懸カル成案ガ、直ニ來米穀年度ノ中ニ、今御協賛ヲ願フテ居ルヤウナ準備處置ヲ必要トシナイト云フヤウナ案トナツテ現ハレテ來ルト云フコトヲ必スル譯ニハ參リ兼ネルノデアリマス、殊ニ各種ノ消費政策、即チ生産統制政策ト云フヤウナモノラ盛込ムヤウナ場合ヲ考ヘマスレバ、是ハ直ニ來米穀年度ニ大キナ影響ヲ直ク現ハシテ來ルト云フヤウナ譯ニハ……出來秋カラ早々ニ現ハレト云フヤウナコトニハ參リ兼ネルノデアリマス、多少出來秋ニ何カ影響ノアル法案ヲ作ルニシマシテモ、ソレガ今御協賛ヲ願フテ居ル法案ヲ必要トシナイト云フヤウ

ナモノヲ、必ズ臨時議會ヲ開イテ出スノダト云フヤウナコトヲ、必然的ニ現ハレルモノトシテ中ス譯ニ參ラヌノデアリマス、從テ臨時議會ト云フコトヲ眼中ニ置キマシタ爲ニ……置ク爲ニ此法案ヲ今御協賛ヲ得ナイデモ宜シイト云フ結論ニハ、全然相成ラヌト思フノデアリマス、今日此端境期ニ於キマシテ政府ノ持ツテ居リマス資金會計ハ、極ク安全ヲ取ツテ推算ヲ致ス、ト申シマスノハ是ヨリ多クナルデアラウト思ヒマスケレドモ、マア一番少クナツタ場合ヲ豫想シテ計算ヲ致シマスルト、約一億圓ノ餘力ヲ存スルト云フコトニナルノデアリマス、是ハ若シ今年ハ現ハレタヤウナ増産ガ假ニ現ハレルヤウナコトヲ豫想イタシマスルト、全く是ニハ應ジラレナイ資金デアリマシテ、七八月ノ交カラ段々次ノ收穫ガ豫想サレル時期ニナリマスルト云フト、非常ナ不安ヲ生ズルコトニ相成ルト思フノデアリマス、サウ云フコトヲ旁、計算ヲ致シテ參リマスレバ、茲ニ御協賛ヲ願フテ居ルヤウナ處置ヲ一應立テ置イテ戴ク必要ガアルト考ヘルノデアリマス、大要以上ヲ以テ御答ト致シマス

○上山滿之進君 只今ノ御答辯ノ第一問ニ對スル數字上ノ認定ト申シテ宜シイカ、是ハ私ハ可ナリ根據ヲ持ツテ居ル積リデアリマス、此問題ハ今當面ニ出テ居ル所ノ問題ノ中心ニナツテ居ル、或ハ魁ニナツテ居ルト云ツテモ宜シイト思フ、此年度ノ持越米ガ非常ニ多イ、斯ウ云フカラ此案ガ出ルノデ、ソレガソナニ多クナイト云ヘバサウセヌデモ宜イ、斯ウ云フコトニナル、ソコノ見込ガ違ヒマス、政府ハ唯算盤ノ上デノ勘定ヲ其儘ニ御使ヒニナツテ居ル、私ハ其内容ヲ檢討シテ斯クノ數デアラウ、斯ウ云フノ

デアリマスカラ、是ハ重大ナ問題デ、此案ノ根本ヲナス重大ナ問題デアリマスカラ、此場合ニハ質問イタシマセヌガ、委員會デ伺ヒマスカラ、ドウカ政府ニ於テモウ少シ御研究ヲ願フテ置キタイト斯ウ思ヒマス、ソレカラ最後ノ質問ハ、實ハ中シ落シマシタガ、私ハ總理大臣ニ伺ツタノデアリマス、丁度幸ニ總理大臣御出席デゴザイマスカラ、是ハ農林大臣ノ御答ヲ總理大臣ノ御答ト諒承シテ、暫ク此儘デ此問題ハ止メテ置キマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 質疑ノ通告者ハ是デ終リマシタ

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ゴリマシタ臨時米穀移入調節法案外二案ハ重要ナル法案デアリマスガ故ニ、其特別委員ノ數ハ十八名トシ、其指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(伯爵松平賴壽君) 池田子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

臨時米穀移入調節法案外二件特別委員

侯爵大隈 信常君	侯爵中御門經恭君
伯爵有馬 頼寧君	子爵青木 信光君
子爵片桐 貞央君	子爵綾小路 護君
三井清一郎君	内田 重成君
上山滿之進君	伊澤多喜男君
男爵福原 俊丸君	男爵淺田 良逸君
男爵稻田 昌植君	赤池 濃君

長岡隆一郎君 藤山 雷太君
松本 眞平君 絲原武太郎君

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第八、輸出水産物取締法案、日程第九、農會法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ二案ハ之ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、田所委員長ノ御登壇ヲ望ミマス

輸出水産物取締法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和九年三月二十二日 委員長 田所 美治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

農會法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和九年三月二十二日 委員長 田所 美治
貴族院議長公爵近衛文麿殿

〔田所美治君演壇ニ登ル〕

○田所美治君 只今議長カラ宣告ニナリマシタ、輸出水産物取締法案及農會法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ三回開會ヲ致シマシテ、政府委員ト詳細ナル問答ヲ交換イタシマシテ、審議討論ノ結果、兩案トモ原案ノ通り滿場一致デ可決ヲ致シマシタ、先ヅ輸出水産物取締法案カラ申上ゲテ見マスレバ、過日モ皆様モ御聽キノ通り、近來水産物ノ輸出ハ非常ニ

多額ニ上ボリマシテ、既往七箇年以來ノ平均ヲ取ツテ見マス、七千萬圓バカリニナツテ居リマス、多イ年ニハ八千五百萬圓ニモナツテ居ル、斯ウ云フ有様デアアルノデアリマス、貿易ノ伸張ノ上カラハ非常ニ喜ブベキコトデアリマス、一面ニ於キマシテハ又當業者ノ間ニ競争ヲ馴致イタシマシテ、其間ニ或ハ不統一ヲ來シ、或ハ粗悪品ノ生産ヲ來シマシテ、海外ニ於テ或ハ信用ヲソレガ爲ニ滅却シ、本邦水産品ノ輸出盛ナル際ニ、一面デハ水産物ノ聲價ヲ失墜スルト云フ、斯ウ云フ虞方段々生ジテ來タノニ付キマシテ、何方ニハ取締ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトカラ近年問題ニナリマシテ、或ハ議院ニ對スル請願トナリ、或ハ各種水産業ノ團體ノ建議陳情トナリマシテ、或ハ政府ニ於テモ、ソレノ機關ニ諮問ヲ致シテ調査イタシマシテ結果等ニ基イテ、本取締法案ガ提出ニナツタモノナンデアリマス、其内容ノ極クアラマシテ申上ゲテ見マス、現在モ實ハサウナツテ居ルサウデアリマス、省令ノ極ク簡單ナ取締規則ニ依リマシテ、検査ヲ經テ合格品ヲ輸出スルト、斯ウ云フコトハ今デモ行ツテ居ルノデアリマス、法律ノ無イ爲ニ誠ニ不備ナ、タツタニ箇條バカリノ省令ガ出テ居リマス、即チ検査ニ合格シタモノダケヲ輸出スル、サウ云フモノダケヲ輸出スル、鮪ノ冷シヤツデアリマス、蠶ノ罐詰此二種ガ省令ニ依ツテ輸出ノ取締ヲセラレテ居ルノデアリマス、而シテ省令ノ規定デアリマス、カラ不備ヲ免レヌ、斯ウ云フ状態デアアルノデアリマス、ソレ故ニ今度ハ法律ニ依リマシテ先キニ申上ゲマシタ當業者等ノ希望モ、法律ノ制定ヲ望ミ、サウシテ完

全ナル指導取締ヲ望ムト、斯ウ云フコトト本案ガ出來タノデアリマス、即チ其趣旨ニ基キマシテ一層検査ヲ嚴正ニシ、且ツ統一ヲ得セシメルガ爲ニ、主務大臣ノ指定シタル種類ノ水産物ニ付キマシテハ、検査ニ合格シタルモノデナケレバ一切輸出ヲ禁ズル、是ガ本案ノ骨子デアアルノデアリマス、ソレニ附帶シマシテ其特定ノ水産物ノ製造加工等ニ從事シテ居リマス者ハ、其前ニ於テ豫メ許可ヲ得ナケレバナラヌ、自由營業ノ範圍ヲ取締リマシテ、拘束シマシテ、免許營業ニスルト云フ規定ナドモアルノデアリマス、或ハ又其製造加工ノ工程ニ於キマシテ、工場ノ設備ヲ取締ル、設備ノ取締ニ關スル命令モ詳細規定スル、法律ノ委任ニ依リマシテ、ソノ規定モ備ツテ居リマス、又尙ホソレ等ガ出來マシタ上ニ、當業者ノ團體、例ハバ水産組合トカ、水産組合ノ聯合會トカ云フモノニ對シマシテハ、統制上必要ナル命令モ發シ得ル、或ハ尙ホソレガ不徹底デアアルナラバ當業者各個人ニ對シテモ統制上ノ事項ヲ命ズル、斯ウ云フヤウナ取締監督ヲ周到ニ致シマシタ規定ガソレノ備ツテ居リマス、又是等ニ附帶シマシテ、監督上ノ諸般ノ規定ヲ備ヘマシテ、又ソレ等ニ違反シマシタモノニ付テハ各箇ニ付キマシテ、詳細ナ制裁ノ規定ヲ具シマシテ、總計十四條ノ規定ガ出來テ居リマス、ヤウナ譯デアリマス、右ノヤウナ趣旨ニ依リマシテ、政府ハ一方デハ營業ノ自由ノコトモ考ヘ、一方デハ輸出ノ競争、ソレガ爲ニ製品ノ聲價ヲ失墜スルノ防グ、又一面ニハ輸出品ノ増加ヲ圖ル等、調節宜シキヲ得マシテ、本案ノ實行ニ掛リタイ、斯ウ云フヤウナ趣意デアリマス、詳細ノコトハ又速記ヲ御覽ヲ願ヒタイノデ

アリマス、色々ノ質問應答ガ交換セラレマシタ、其中ノ主ナル一二ヲ御紹介ヲ申上ゲテ見マス、一、一體検査ヲヤルナラバ、國家ガ検査ヲスルヤウニシテハドウデアアルカ、現在ハ御承知ノ御方モアリマセウガ、水産組合、或ハ水産組合聯合會等ニヤラシテ居ルノデアリマス、前ニ申シマシタヤウナ誠ニ不十分ナガラニ其検査ヲヤラシテ居ル、矢張り其方法ヲ政府ハ續ケル積リデ居ルノデアリマス、寧ろ國營ノ検査ヲヤラシテハドウデアアルカ、斯ウ云フコトノ問ガアツタノデアリマス、ソレニハ大分豫算モカカルノデアリシ、又從來ノ検査モ或ハ嚴正ヲ缺ク場合モナイデハナイケレドモ、相當ナル成績ヲ擧ゲテ居ルカラ、暫クノ間ハ水産組合及水産組合ノ聯合會等ノ自治的ノ機關ニ依ツテ、相當ノ監督ノ下ニ本案第一條ノ検査ヲヤル積リデアアル、若シ夫レ徹底ヲ期スルナラバ國營ニ越シタコトハナイ、斯ウ云フ答辯ナドモアツタノデアリマス、第一條ニ依リマシテ、本案ニ依ツテ取締ヲ第一トスル水産物ノ種類ハ、先ヅドシナ物デアアルカト云フ質問ナドモ起リマシタ、ソレハ先ヅ差當ツテ本案成立後直ニ著手ヲ致シマスノハ、現在ノ通り蟹……最モ其輸出ガ水産物中ノ最重要位ヲ占メテ居リマス、蠶ノ罐詰、或ハ鮪ノ冷凍シタ物、冷凍鮪、此二種カラ始メル積リデアアル、サウシテ追々本法ニ依ツテ必要ナル限度ニ應ジマシテ、其他ノ水産物ニ及ブ、例ヘテ言フテ見レバ、近來發達シタ「フィッシュ・ミール」ナドモアルサウデアリマス、或ハ鮭トカ鱒トカ云フヤウナモノニモ及ンデ行ク、即チ此法律ニ依リマシテ自由ニ伸縮ヲ致シテヤル積リデアアル必要ニ應ジテ……、コンナ答辯デアリマシタ、或

ハ又取締ダケデナシニ南洋、北洋等ニ於ケル漁業ノ獎勵指導ト云フヤウナ方面ニ付テノ問答モ交換セラレタノデアリマス、或ハ又輸出ト云フテモ、相手ノ國ノ關係ニ依ツテモ其寬嚴ヲ異ニセネバナルマイ、東洋ノ例ヘバ支那方面ニ輸出スルモノト、歐米各國ニ輸出スルモノト付テハ品物モ違フシ、又取締ノ程度モ寬嚴宜シキヲ得ナクチヤナラヌデヤナイカ、斯ウ云フ意味ノ問答モ交換セラレタノデアリマス、相當ノ政府ニ於キマシテモ答辯ハ致シマシテ、先以テ本案ニ付テ目的トスル所ハ歐米各國ニ對スル輸出ノ取締デアツテ、支那方面ニ對スル物ハ、先ニ申上ゲマシタ免許ノ許可ヲ得ナケレバ生産ガ出來ヌトカ云フヤウナコトマデハ及ボサヌ、況ヤ検査ナクシテモ差支ガナイ、本案ニ依リマス検査ハ……自治的ニヤリマス検査ハ組合等デヤツテ居リマセウガ……サウ云フヤウナ答辯モアリマシテ、質問者ノ丁度趣旨ニ合致スルヤウナ方針ヲ執ツテ行ク、斯ウ云フヤウナ答辯デアツタノデアリマス、十四箇條バカリノ法案デアリマス、大體ニ只今申上ゲマスヤウナ趣旨カラ見マス、誠ニ内容モ適切デアツテ、運用宜シキヲ得マシタナラバ、將來ノ輸出物ヲ一面ニ於テハ増加ヲ圖リ、一面ニ於テハ海外ノ信用モ保持シツツ、水産物ノ原料等ノ減失モ防ギマシテ、相當ノ成績ヲ擧ゲルコトガ出來ルダラウ、斯ウ云フ意味デ全會一致デアラヌ、通リ可決ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ致シテ置キマス、モウ一ツハ農會法デアリマス、農會法ハ御覽ノ通り二十有餘箇條ニ互リマシテ、詳細ナル、細カイ其文字ハ現ハレテ居リマス、此改正ノ骨子ハ別段此農會ノ性質トカ、或ハ

目的トカ云フヤウナ根本ノ程度ニハ少シモ及ンデ居ラヌノデアリマス、一言ニシテ申シマスレバ、過日モ御聽キデアリマシタラウガ、農會ヲ組織シテ居リマスル議決機關デアリマストカ、執行機關デアリマストカ、機關ノ組織ヲ少シ變ヘマシタト云フヤウナ點ガ一點、ソレカラ其機關ヲ選舉イタシマスル選舉ニ關スル規定等ヲ改正ヲ致シ、或ハ議決機關ノ是マデノ不備ノ所ヲ改メマシテ、監督ニ關スル規定モ從來ノ不備ニ鑑ミマシテ、改メタイト云フヤウナ寧ロ事務的ノ方面ノ組織ニ關スルコトデアリマシテ、農會ニ關シマシテ、從來問題トナッテ居リマスル根本ノ本質トカ、目的トカト云フモノニハ觸レテ居ラヌノデアリマス、其二ノ申上ゲテ見マスレバ、是マデ御承知ノ通り町村農會アリ、郡農會アリ、或ハ道府縣ノ農會アリ、帝國農會アリ、此四段ノ系統的ニナッテ居ルノデアリマス、其系統ノ聯絡ヲ縱ニモ圓滑ニ致シマスシ、又各階級ニ付キマシテ、其組織ノ不都合ナ所ヲ改メタ、斯ウ云フ譯ニナッテ居ルノデアリマス、先以テ議決機關ノ改正ト致シマシテハ、町村農會ニモ總會ト云フモノノ組織ガアルノデアリマス、總會デ諸般ノ議決ヲ致シテ居ル、是ハ町村ノ事情カラ見マシテ、寧ロ町村ノ總代會ノ方ガ宜カラウ、只今ノ規定ニ依リマシテ、總會ヲ本則ニ致シマシテ總代會ヲ設クルコトヲ得、代用スルコトヲ得ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、其代用ノ方ヲソレヲ一定ノモノニ致シマシテ、町村農會ニ於テハ、町村農會ノ總會ヲ廢止シマシテ、サウシテ總代會ヲ設ケル、極ク少數ノ者ニシマシテ、サウシテ親密ニ審議ヲ致ス、斯ウ云フコトニスル方ガ實情ニ即ス

ルモノデアアル、從來多年、十數年ノ經驗ニ基キマシテ、町村農會ニ於テハ、寧ロ總代會ガ宜イト云フコトニ改メタノデアリマス、只今マデノ實例ヲ調べテ見マスルト云フト、總代會ノ方ハモウ九十六「パーセント」位、町村農會ノ中デ實施ヲ致シテ居リマスノデ、残り、總會ヲ有シテ居ル所ハ僅ニ四「パーセント」位デアリマス、町村ノ數デ申シマス、一萬何千ニ對シマシテ、僅ニ四百有餘ガ今日總會ヲ存シテ居リマシテ、大概ハ只今申上ゲマスヤウナ例外ナ總代會ヲ活動ヲ致シテ居リマス、其實情ヲ見マシテ、只今申上ゲルヤウナ町村農會ニ於テハ總會ヲ廢止シテ總代會ト云フヤウナ制度ヲ設ケル、是ガ一ツデアリマス、モウ一ツ、第二ニハ郡ノ特別議員ト云フモノヲ廢スル、是ハ衆議院ノ方デ修正ニナッテ來テ居リマスガ、原案ハ郡農會ニ於テハ特別議員ヲ廢スル、特別議員ト云フモノハ、皆御承知デアリマセウガ、農會ニ於テ、其地方ノ學識經驗アル者ヲ官廳ガ命ジマシテ、サウシテ特別議員ト致シテ居ルノデアリマス、政府モ之ヲ廢止シヤウト考ヘマシタ趣旨ハ、從來農會ノ非常ナル、農業發達ニ依ッテ貢獻ノ傍ラ、又多年ノ間ニ弊害ヲ生ジテ居ル、其弊害ノ主ナルモノハ是等ノ點ニアル、特別議員ヲ任命シマシテ、サウシテ色々政黨派ノ爭奪ヲヤル、役員ノ爭奪等ヲ試ミル、ソレガ爲ニ農會本來ノ目的ヲ脱却シテ途法モナイ弊害ニ陥ツタト云フヤウナコトモ從來少カラズアルノデアリマス、サウ云フ點ヲ改メルガ爲ニ、寧ロモウ根本的ニ今ノ特別議員ヲ廢止スル、斯ウ云フ原案デアッタノデアリマス、衆議院員ハ又良イ者モアル、殊ニ系統的ノ會デアッ

テ、帝國農會ニモ亦道府縣ノ會ニモ、又町村會ニモ置キ得ルノニ、農會ニ限ッテサウ云フコトヲスルト云フコトハ、何カ方法ヲ講ジタナラバ……其弊害ヲ取締ル方法ヲ講ジタラ、特別議員ヲ置イテモ宜イデキナイカト云フ趣旨カラ特別議員ヲ存置シテ、其特別議員ハ農會役員ノ選舉トカ云フヤウナモノニ干與スルコトガ出來ヌ、即チ特別議員ノ議決權ヲ拘束スル、斯ウ云フコトニシタラドウデアラウカ、政府モ其趣旨ニ於テハ、前申上ゲルヤウナ弊害サヘ起リ得ナケレバ無論差支ナイ話デアリマシテ、且ツ一面ニハ學識經驗アル者ガ若シ得ラレトスルナラバ、正シキ行動ニ依リマシテ郡農會ニ於ケル特別議員モ、相當ニ立派ナ貢獻ヲ爲シツツアル所モアルノデアルカラ、寧ロ其修正ニ喜ンデ同意ヲスルト云フコトニナッテ本院ヘ廻ッテ來テ居ルト、斯ウ云フヤウナ譯ナノデアリマス、尙ホモウ一點申上ゲテ置キマスガ、組織ノ關係ニ於キマシテ、從來ハ系統的デアリマスルカラ、各農會ノ議員ハ下級ノ農會カラ選舉シマシタ者ヲ以テ議員ニ充テルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレヲ變ヘマシテ、議員ニナル者ハ下ニ附屬シテ居リマス直下直屬ノ團體ノ會長ト副會長ガ當ル、サウシテ選舉ニ依ラナイデ法律デサウ云フ限定ヲシテシマフ、依ッテ以テ色々ニ弊害ノ一端モ防ガウ、且又聯絡モソレガ爲ニ良クナル、會長、副會長デアレバ即チ下級ノ團體ノ事情ニ能ク精通シテ居ル者デアルカラ、上下ノ聯絡モヨク付イテ、即チ農會ノ各種ノ圓滿ナル活動ヲ捉スコトガ出來ヤウ、斯ウ云フコトデ會長、副會長ヲ以チマシテ議員トスルト云フ、サウ云フ限定ノ規定ガ出來テ居リマス、其他

或ハ選舉ニ關スル規格規定ヲ設ケマシタリ、或ハ總會、總代會等ノ創立ノ場合ニ於テ不備ヲ規定ヲ補ヒマシタリ、或ハ農會ノ合併スルヤウナ場合ニ於ケル不備ノ規定ヲ簡易ニ且ツ確實ニ致シテ居リマスヤウナ點デアリマストカ云フヤウナ點ヲ改正イタシタノデアリマシテ、根本ノコトニハ及ンデ居リマセヌ、問答ノ一二ヲ御紹介イタシマスレバ、即チ今ノ根本ノ農會ノ發達ニ付テノ貢獻ハ著シイモノデアラウガ、從來農會ニ對シテハ又非難ノ點モ澤山アル、何故ニ政府ハ根本的ノ改正ヲ考ヘナカッタト斯ウ云フヤウナコトガ主ナ質問ノ一ツデアルノデアリマスルガ、ソレニ對シマシテハ、從來ノ多年ノ……明治三十年前後カラデアリマセウ、三十有餘年發達シテ來マシタ此農會ガ、我國ノ農業ノ發達ニハ著シキ貢獻ヲ爲シテ居リマスコトハ皆サンモ御承知ノ通り、其後ニ色々ノ團體ガ町村ニハ出來マシテ、産業組合デアリマストカ、其他各種ノ農業ニ關スル或ハ自治機關ノヤウナモノモ出來マシタラウシ、或ハ營利ノ媒介ヲスルモノガ出來マシタラウシ、色々出來テ今日デハ複雜ニナッテ居リマス、其複雜ニナッテ居ルガ爲ニ、其機關ガ重複シ、活動ガ或ハ矛盾スルト、斯ウ云フヤウナ弊害モナイデハナイケレドモ、一面ニ於テハ農會ト云フモノノ貢獻ハ著シイモノデ、又將來ノ活動ニ俟ツコトガ多イノデアルカラ、根本的ノ改正ト云フモノハ、漸次々々ニ改メル必要ハアルカモ知レナイケレドモ、目下ノ所ニ於テソレハ考ヘテ居ラヌ、考究ハ無論スルケレドモ……ト斯ウ云フヤウナコトデアリマシタ、ソレカラ附帶シマシテ、或ハ政黨トノ關係、或ハ官廳等ノ干渉、即チ政黨

ガ原因デアリマスルガ、サウ云フコトカラ從來及ンデ居テ弊害、或ハ今申上ゲタヤウナ各種團體ト農會トノ關係ヲモット簡單ニシマシテ、サウシテ矛盾ノナイヤウニ、數者相俟ツテ矛盾ノナイ、圓滿ナ活動ヲ促スト云フコトニ付テハ、問フ方ノ人モ其考デ問ウテ居リマスシ、又政府モサウ云フ點ニ於テハ十分ノ研究モ致シ、又運用上宜シキヲ制スル積リデアルト、斯ウ云フヤウナコトデアリマシク、尙ホ各條ニ付キマシテ詳細ナ質問等ハアリマシタガ、速記録デ御覽ヲ願ヒマス、討論ニ入りマシテ滿場一致デ可決イタシマシタヤウナ譯デアリマス、尙ホ衆議院ノ修正ハ、政府モ同意ヲ致シテ居リマスルシ、政府ノ原案ニ豫期シテ居リマシタ點ハ補正セラレマシテ、サウシテ一面デハ郡農會ニモ尙ホ特別議員ト云フモノヲ保存シ得ルト斯ウ云フコトニナッタノデアリマスカラ、弊害サヘナケレバ誠ニ結構ナコトデアルト云フ譯デ、衆議院ノ修正ノ通り可決ヲ致シマシタ、御報告ヲ致シマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 兩案ノ第二讀會ヲ直ニ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵梅園篤彦君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○子爵梅園篤彦君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 日程第十、借地借家調停法中改正法律案、日程第十一、小作調停法中改正法律案、日程第十二、刑法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 日程第十、借地借家調停法中改正法律案、日程第十一、小作調停法中改正法律案、日程第十二、刑法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 兩案ノ第二讀會ヲ直ニ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵梅園篤彦君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 二案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、二案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○子爵梅園篤彦君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 二案ノ第三讀會ヲ開キマス、二案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十、借地借家調停法中改正法律案、日程第十一、小作調停法中改正法律案、日程第十二、刑法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 日程第十、借地借家調停法中改正法律案、日程第十一、小作調停法中改正法律案、日程第十二、刑法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵植村家治君 兩案ノ第二讀會ヲ直ニ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵梅園篤彦君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿
借地借家調停法中左ノ通改正ス
第七條 當事者及利害關係人ハ自身出頭シ又ハ辯護士ヲ代理人トシテ出頭セシムルコトヲ要ス
前項ノ代理ニ付テハ民事訴訟法中代理ニ關スル規定ヲ準用ス
第二十二條中「第七條第一項但書第二項」ヲ削ル
小作調停法中改正法律案
右本院提出案及送付候也
昭和九年三月二十二日
衆議院議長 秋田 清

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿
小作調停法中左ノ通改正ス
第十六條 當事者、總代及利害關係人ハ自身出頭シ又ハ辯護士ヲ代理人トシテ出頭セシムルコトヲ要ス
前項ノ代理ニ付テハ民事訴訟法中代理ニ關スル規定ヲ準用ス
刑法中改正法律案
右本院提出案及送付候也
昭和九年三月二十二日
衆議院議長 秋田 清

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿
刑法中左ノ通改正ス
第二十五條中「二年以下」ヲ「三年以下」ニ改ム
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレバ是等ノ三案ハ、之ヲ民事訴訟法中改正

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿
刑法中左ノ通改正ス
第二十五條中「二年以下」ヲ「三年以下」ニ改ム
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレバ是等ノ三案ハ、之ヲ民事訴訟法中改正

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿
刑法中左ノ通改正ス
第二十五條中「二年以下」ヲ「三年以下」ニ改ム
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレバ是等ノ三案ハ、之ヲ民事訴訟法中改正

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿
刑法中左ノ通改正ス
第二十五條中「二年以下」ヲ「三年以下」ニ改ム
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレバ是等ノ三案ハ、之ヲ民事訴訟法中改正

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレバ是等ノ三案ハ、之ヲ民事訴訟法中改正

法律案外六件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次ノ議事ハ明二十四日午前十時ヨリ開會イタシマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時五十七分散會

法律案外六件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次ノ議事ハ明二十四日午前十時ヨリ開會イタシマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時五十七分散會

法律案外六件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次ノ議事ハ明二十四日午前十時ヨリ開會イタシマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時五十七分散會

法律案外六件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次ノ議事ハ明二十四日午前十時ヨリ開會イタシマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時五十七分散會

法律案外六件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次ノ議事ハ明二十四日午前十時ヨリ開會イタシマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時五十七分散會

法律案外六件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次ノ議事ハ明二十四日午前十時ヨリ開會イタシマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時五十七分散會

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケレバ是等ノ三案ハ、之ヲ民事訴訟法中改正